

平成24年度

# 事業報告書

社会福祉法人

佐倉市社会福祉協議会



## 目 次

○ 総 括	1
1 社会福祉事業	
(1) 法人運営	
ア 組織の運営	3
イ 役員等研修	7
ウ 福祉功労者表彰	8
エ 組織体制基盤の強化	11
オ 会員募集	15
カ 事業委託契約	16
(2) 地域福祉ネットワーク	
ア 第4次地域福祉活動計画の推進	17
イ 地区社会福祉協議会活動の推進	19
ウ 団体活動支援・連携	22
エ 民生委員・児童委員関連業務	24
(3) ボランティアセンター	
ア ボランティアセンター事業	25
イ 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	31
ウ 福祉教育推進事業	32
(4) 企画広報	
ア 広報啓発	33
(5) 受託事業	
ア 敬老事業	34
イ 行旅死亡人墓参事業	35
ウ 障がい者社会参加促進事業	36
エ 福祉カー貸出事業	40
オ 生活福祉資金・老障資金貸付事業	41
カ 日常生活自立支援事業	43
キ 佐倉市ひとり親家庭等日常生活支援事業	45
ク 佐倉市難病患者等ホームヘルプサービス事業	45
(6) 善意銀行	46
(7) 基 金	
ア 福祉基金の運営	47
イ 菊地久治勉学奨励基金の運営	47
(8) 在宅福祉	
ア ふれあい・いきいきサロン事業	48
イ ふれあい型食事サービス事業	49
ウ おもちゃ図書館	50

エ	車椅子貸出事業	5 1
オ	奨学福祉事業	5 2
カ	法人後見事業	5 5
キ	訪問介護員養成研修事業	5 6
(9)	共同募金配分事業	
ア	歳末たすけあい運動	5 7
(10)	共同募金事業への協力	5 9
(11)	福祉総合相談事業	6 1
(12)	居宅介護	
ア	障がい者自立支援事業	6 3
イ	訪問介護員派遣事業	6 3
2	公益事業	
(1)	介護保険	
ア	訪問介護事業	6 4
イ	居宅介護支援事業	6 7
(2)	指定管理事業	
ア	西部・南部地域福祉センター管理運営	6 9
イ	市民公益活動サポートセンター管理運営	7 0
(3)	移動サービス事業	7 4
3	収益事業	
(1)	福祉売店の経営	7 5
(2)	手数料の収入	7 5
(3)	収益事業損益計算	7 6
○	役員・評議員名簿	7 7

## 平成24年度佐倉市社会福祉協議会事業報告〈総括〉

依然として景気の低迷が続いた平成24年度は、社会情勢の中で生まれる深刻な生活課題に対し、生活福祉資金等の貸付事業や高齢の方、障がいを持つ方の権利擁護の事業、介護事業などによる個別支援の活動に取り組むとともに、東日本大震災を大きな教訓として「佐倉市地域防災計画」に基づき、佐倉市との連携及び災害ボランティアセンターの設置及び運営に関し、協定書を締結するなど、新たな地域福祉課題へ積極的に取り組みました。

新たな事業展開としては、介護人材の確保を図るため、訪問介護員養成研修事業をスタートした他、佐倉市からの委託による障害者作品展、障害者シンポジウム等を好評裏に開催することができました。奨学福祉制度においては、初の韓国研修を実施し、4名の奨学生が参加して世界に対する見聞を広めるとともに、韓国奨学生との友好関係を築けたことなど、新規事業への取り組みを行いました。

次年度への準備としては、佐倉市成年後見支援センターの開設に向けた作業着手や社会福祉法人新会計基準への移行に関して、役員、評議員研修会により理解を深めるなど、無事に会計移行作業を完了することができました。敬老事業については、検討会を設置し、今後の方向性を決定することができ、南部地域福祉センターの指定管理範囲の拡大に伴う受託についても本会が継続して指定管理者となることができました。

組織関係では、事務局組織の改編を行うとともに、サポートセンターとボランティアセンターの連携機能強化を図り、また、職員関係では、千葉県社会福祉協議会と職員人事交流を行い、互いに職員の資質の向上、組織における活動方法などを学ぶ機会としました。

### 【重点実施事項への取り組み】

#### 1. ボランティアセンターの機能強化

ボランティアセンターを独立させるとともに、災害対応検討機能を付加し、市民公益活動サポートセンターとの事業相互乗り入れ等により連携の強化を図りました。また、佐倉市と「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」を締結した他、旭市仮設住宅支援活動ボランティア研修会を実施しました。現在、社協災害対応マニュアルを作成しているところですが、災害時を想定した職員の災害時対応訓練を実施し、災害対応意識の高揚を図りまし

た。今後は、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練等を行い、大規模災害に備えていく予定です。

## 2. 第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進

佐倉市との協働による地域福祉の推進に向けて、佐倉市地域福祉推進会議を共催し、地域における相談のしくみづくり等について検討を行いました。地域福祉サポーターの設置については、地域の課題へ地域で取り組んでいくことの大切さを再確認するため、県社協主催のコミュニティソーシャルワーカー基礎研修を市内を会場に開催しました。また、子育て支援に関する事業への取り組みについては、多角的に検討を継続していきます。

## 3. 財源確保への積極的な取り組み

会費財源の拡大を図るため、会員募集時期における社協説明会において、市社協・地区社協の活動状況を映像でわかりやすく伝えるよう努めましたが、実績としては増加に至ることはできませんでした。また、特別団体会員の拡大を図るため、あらゆる機会を捉えて企業等と接触して理解を得るとともに、ホームページに特別会員名簿を掲載し、各団体のホームページへリンクできるように努めました。一方、東日本大震災被災地支援として、東日本大震災復興を応援する会主催のチャリティコンサートに協賛し、被災地への支援金の確保に協力しました。

## 4. 情報管理体制の構築

情報管理機能の強化を図るため、情報管理責任者、情報管理者及び情報システム担当を設置し、担当部署ごとに職員の情報管理意識の向上に向けた研修を行いました。また、インターネットを活用して西部・南部地域福祉センター、市民公益活動サポートセンターとのセキュリティを強化した情報共有及び情報一元管理体制を構築するとともに、職員のパソコンのパスワードを管理し、定期的更新を行うことを常態化しました。ウィルス対策については、最新の防御システムを導入し、監視体制を強化した他、休日夜間におけるパソコンサーバー室の施錠及びサーバー機格納庫の設置を行いました。

## 1 社会福祉事業

### (1) 法人運営

#### ア 組織の運営

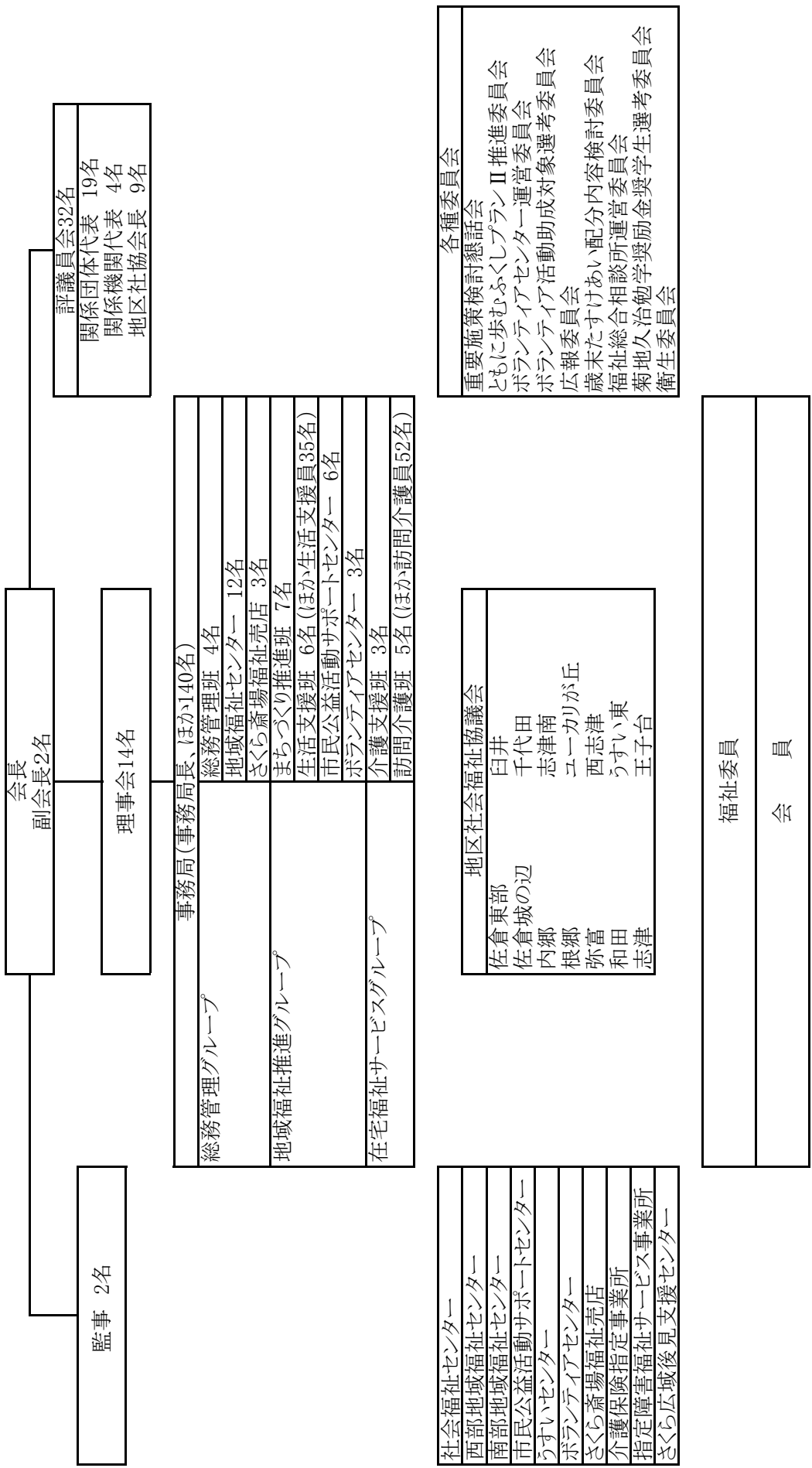
#### ・市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条(昭和26年3月29日法律第45号)に規定された社会福祉法人です。この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉(「地域福祉」という。)の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです(法第1条)。

#### ・市町村社会福祉協議会の事業(法第109条)

- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

・社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織  
(平成25年3月31日現在)





## (ア) 理事会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回	5月22日(火) 午後1時30分～	2階会議室	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告の認定</li> <li>平成23年度一般会計決算の認定</li> <li>平成23年度公益事業会計決算の認定</li> <li>平成23年度収益事業会計決算の認定</li> <li>規程の改正</li> <li>補欠評議員の選任</li> <li>任期満了に伴う評議員の選任</li> </ul>
第2回	7月10日(火) 午後3時～	2階会議室	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長の選任・副会長の選任</li> </ul>
第3回	9月21日(金) 午後1時35分～	2階会議室	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度一般会計第1次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第1次補正予算</li> <li>定款の変更</li> <li>規程の改正</li> <li>福祉功労者表彰式被表彰者の選定</li> </ul>
第4回	1月18日(金) 午後1時30分～	2階会議室	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度一般会計第2次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第2次補正予算</li> <li>規程の制定</li> <li>規程の改正</li> </ul>
第5回	3月15日(金) 午後1時30分～	2階会議室	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業計画・予算</li> <li>平成24年度一般会計第3次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第3次補正予算</li> <li>定款の変更</li> <li>規程の制定</li> <li>規程及び細則の改正</li> <li>契約の締結</li> </ul>

## (イ) 評議員会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回	5月29日(火) 午後1時30分～	地下研修室	19名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度事業報告の承認</li> <li>平成23年度一般会計決算の承認</li> <li>平成23年度公益事業特別会計決算の承認</li> <li>平成23年度収益事業特別会計決算の承認</li> <li>規程の改正</li> </ul>
第2回	6月10日(日) 午後1時30分～	地下研修室	25名	<ul style="list-style-type: none"> <li>任期満了に伴う理事の選任</li> <li>任期満了に伴う監事の選任</li> </ul>
第3回	9月28日(金) 午後1時30分～	地下研修室	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度一般会計第1次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第1次補正予算</li> <li>定款の変更</li> <li>規程の改正</li> </ul>
第4回	1月25日(金) 午後1時30分～	地下研修室	22名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度一般会計第2次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第2次補正予算</li> <li>規程の制定及び改正</li> </ul>
第5回	3月22日(金) 午後1時30分～	地下研修室	21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業計画・予算</li> <li>平成24年度一般会計第3次補正予算</li> <li>平成24年度公益事業会計第3次補正予算</li> <li>定款の変更</li> <li>規程の制定</li> <li>規程の改正</li> </ul>

## (ウ) 理事懇談会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	内容
第1回	12月7日(金) 午後1時30分～	2階会議室	11名	平成25年度実施事業について
第2回	2月15日(金) 午後1時30分～	2階会議室	12名	平成25年度事業計画・予算について

## (エ) 事業担当理事会議の開催

開催日	会場	出席理事	内 容
4月17日(火)	2階会議室	3名	介護サービスグループ事業について
5月17日(木)	2階会議室	5名	地域福祉推進グループ事業について
5月17日(木)	2階会議室	4名	総務管理グループ事業について
6月18日(月)	2階会議室	2名	介護サービスグループ事業について
7月24日(火)	2階会議室	4名	総務管理グループ事業について
9月 3日(月)	2階会議室	3名	地域福祉推進グループ事業について
11月 7日(水)	2階会議室	3名	介護サービスグループ事業について
11月19日(月)	2階会議室	3名	市社協における災害時対応について
12月28日(金)	会長室	3名	総務管理グループ事業について
3月 4日(月)	会長室	2名	地域福祉推進グループ事業について
3月 5日(火)	会長室	3名	総務管理グループ事業について

## (オ) 監事による監査(定款第13条に基づく)

実施日	会場	内 容
5月14日(月)	2階会議室	平成23年度事業報告、決算
11月9日(金)	2階会議室	平成24年度上半期事業進捗状況、決算

## (カ) 内部会計監査(経理規程第48条に基づく)

実施日	会場	内 容
6月13日(水)	2階会議室	平成23年度会計処理状況(1月～3月分)
7月20日(金)	2階会議室	平成24年度会計処理状況(4月～6月分)
10月19日(金)	2階会議室	平成24年度会計処理状況(7月～9月分)
2月 4日(月)	2階会議室	平成24年度会計処理状況(10月～12月分)

## (キ) 外部監査

## 財政援助団体等監査(地方自治法第199条に基づく)

実施日	会場	内 容
7月 2日(月)	2階会議室	・役員、職員、平成23年度事業報告、決算 ・平成24年度事業計画、予算

## 社会福祉法人等指導監査(社会福祉法第56条に基づく)

実施日	会場	内 容
10月 4日(木)	2階会議室	・法人の運営管理 ・平成23年度事業報告、決算 ・平成24年度事業計画、予算

## (ク) 人 事

## a 理事の辞任

辞任日	氏 名
5月13日	谷田部 満
3月31日	川根 紀夫、高橋宗夫

## b 任期満了に伴う理事の辞任

辞任日	氏 名
7月9日	左奈田雄一、高岡良子、戸村庄治、岩崎香、成瀬匡央、川根紀夫、高石惣一郎、宇田川光三、河田ひろみ、古島弘、伊藤澄子、高橋宗夫、寺田純子

## c 任期満了に伴う理事の就任

就任日	氏 名
7月10日	左奈田雄一、高岡良子、戸村庄治、稲垣美加子、成瀬匡央、川根紀夫、高石惣一郎、宇田川光三、関根直也、伊藤澄子、山岸洋子、古島 弘、高橋宗夫、寺田純子

## d 任期満了に伴う監事の辞任

辞任日	氏 名
7月9日	五十嵐玲彦、錦織盛益

e 任期満了に伴う監事の就任

就任日	氏 名
7月10日	五十嵐玲彦、坪松康隆

f 補欠評議員の就任

就任日	氏 名
5月22日	飯島 弘、薦岡利宏、井田陽一

g 任期満了に伴う評議員の辞任

辞任日	氏 名
6月9日	新谷俊文、上ノ山博夫、飯島 弘、土屋志郎、薦岡利宏、小長井博子、増田正志、島田 保 関根直也、遠藤赳夫、高橋義和、大栗孝広、夏海 剛、大木律子、櫻井 肇、安本秀明、池澤 利一、藤澤奎二、大蔵文子、平野協治、増田征司、井田陽一、渡辺聡子、木村登志子、金杉 眞次、村上英祥、丹羽健治、池 克志、長谷久美子、山本重一郎、椎名俊治、安田浩文

h 任期満了に伴う評議員の就任

就任日	氏 名
6月10日	大野直道、上ノ山博夫、飯島 弘、土屋志郎、薦岡利宏、小長井博子、増田正志、野口和雄 山本和彦、遠藤赳夫、高橋義和、大栗孝広、長谷川智之、大木律子、櫻井 肇、安本秀明 池澤利一、藤澤奎二、大蔵文子、平野協治、増田征司、井田陽一、磯部寛子、佐野智佳子 市原敏彦、佐藤英男、垣崎昭子、池 克志、田仲知代、山本重一郎、椎名俊治、安田浩文

i 評議員の辞任

辞任日	氏 名
9月11日	増田正志
3月31日	飯島 弘、土屋志郎、安本秀明

(ケ) 懇話会の廃止

平成25年3月31日 重要施策検討懇話会 廃止

廃止理由： 事業担当理事制の充実、強化を図り、各種重要施策についての方向性を理事が主体となって  
検討するよう、理事会・理事懇談会で行うこととしたため。

イ 役員等研修

開催日時	会 場	参加者	内 容
7月27日 (金) 午後 1時30分～	南部地域福祉センター研修室	29名	テーマ「新社会福祉法人会計基準への 移行と法人経営について」 講 師 五十嵐玲彦 監事

ウ 社会福祉功労者表彰

(ア) 福祉功労者表彰式

日 時	11月22日(木)午後1時30分～3時
会 場	中央公民館
被表彰者	103個人・団体

a 特別功労賞(会長表彰後10年以上)《3名》

熱田好司、鈴木雅夫、松橋政昭

b 会長表彰

・役員・評議員・委員(8年以上)《50名》

縣 東洋、石塚孝男、井田陽一、市原淑光、井上竜一、宇佐美昭子、江戸重和、大蔵文子、大山紀子  
岡村芳樹、小澤延孔、小野玲子、河西正吾、川上芳男、木村勝男、栗原右熹、古島 弘、佐川 章  
櫻井肇、佐藤 惇、佐藤喜美子、里見昌徳、佐野政吉、澤田盛子、杉浦たけ子、染谷 輝、高橋 豊  
田中純子、近友三郎、永井博治、中村繁美、新倉友子、橋本允之、花嶋勝男、羽根井禎敏、  
房田正一、古川千枝子、増田正志、宮坂理恵、宮田みどり、村上美代子、村田法子、森田正子  
山崎美保子、山本耕嗣、山本早苗、吉澤 鏡、和佐暁子、渡辺章二、渡辺秀夫

c 会長感謝状

(a) 多額寄付者

〔個 人〕(3万円以上)《4名》

中村知子、中村ふみ子、三浦京子、水藤 晶

〔団 体〕(10万円以上)《6団体》

株式会社井野口建材、佐倉ライオンズクラブ

佐藤書道教室ボランティアシルバークラス桜会世話役一同、新町フリマ石井・池谷

特定非営利活動法人エンゼルプラン、山万株式会社

(b) 福祉活動功績者

〔個 人〕《15名》

市川幸子、牛川秀之助、木内邦子、木口有三、酒井金信、菅原喜美恵、杉山静枝、鈴木浩美  
富沢 惇、野田鎮任、永瀬 博、松本誠一、村松敬之、山田明美、吉村 勉

〔団 体〕《8団体》

上志津1区平成3年観音講、グリーンヒル防犯パトロール、佐倉山王防犯パトロール隊

佐倉市立染井野小学校区学校ガードボランティアの会、並木商店、ピアニカ隊ibu-uby

千代田小学校スクールガードボランティア会、松が丘防犯グループ

(c)特別会員

〔個人〕(10年)《3名》

田中 宣子、田淵 良和、中村 方

〔個人〕(30年以上)《4名》

秋葉 昭、兼坂 弘二、吉田 忠、渡貫 基代志

〔個人〕(40年以上)《2名》

日暮 幸雄、山本 元宣

〔団体〕(10年以上)《3団体》

社会福祉法人清明会 ケアハウスくつろぎの里、社会福祉法人千歳会ケアハウスちとせ  
社会福祉法人富裕会 特別養護老人ホーム ゆたか苑

〔団体〕(20年以上)《5団体》

インバ建設株式会社、社会福祉法人佐倉厚生会特別養護老人ホームさくら苑  
ジェイティエースター株式会社、塚田商事株式会社  
社会福祉法人誠友会特別養護老人ホーム佐倉白翠園

(イ) 第62回千葉県社会福祉大会

日 時	11月15日(木)午後1時30分～3時40分(予定)
会 場	青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市)
主 催	千葉県 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 社会福祉法人千葉県共同募金会

a 千葉県社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労者

該当者なし

○身体障害者相談員功労者

該当者なし

○社会福祉施設・団体関係役員功労者

青山秀人、伊藤美由喜、中田亜希、小出博美、岡本綾子、齋藤靖導、石渡きよみ

b 千葉県社会福祉協議会会長感謝状

○社会奉仕活動者

あしたの会

c 千葉県共同募金会会長感謝状

○共同募金奉仕功労者

該当者なし

○共同募金優良地区・団体

佐倉市こおろぎの会、ガールスカウト千葉84団、あしたの会、チューリップの会  
かぶらぎボランティア、印旛沼ネットワークの会、要約筆記サークル「あうん」  
高岡区、井野東一区、飯田柏葉町内会、鏑木第三町内会、千葉県共同募金会佐倉市支会

エ 組織体制基盤の強化  
 (ア) 人事考課制度の制定と実施  
 実施内容

平成23年度から人事考課制度を本格導入して1年が経過したことにより、制度を振り返り、標準職務行動基準と業務項目一覧について見直しを行い、要綱の改定を行った。今年度の人事考課を通して、評価点のばらつきと指導育成について課題が明らかとなったため、評価点の平準化が図れるように考課者研修は実務体験型研修を行うこと、指導育成が必要な職員に対しての研修計画策定を行うことについて協議を行った。

a 考課者研修

回数	開催日	会場	内容
第1回	8月23日(木)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考課準備</li> <li>・スケジュール調整</li> <li>・考課対象とする行動の抽出と評価基準のすりあわせ</li> </ul>
第2回	1月9日(水)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考課準備</li> <li>・スケジュール調整</li> <li>・考課対象とする行動の抽出と評価基準のすりあわせ</li> </ul>

b 人事会議

回数	開催日	会場	内容
第1回	10月4日(木)	会長室	・上期人事考課(考課結果の決定についての協議)
第2回	2月6日(水)	会長室	・下期人事考課(特別加点の検討と、考課結果の決定についての協議)
第3回	3月5日(火)	会長室	・総合考課(考課の決定と職員の育成について、制度の振り返り)

(イ) 職員研修

a 内部研修

開催日時	会場	参加者	内容
8月27日(月) 午後5時45分～	地下研修室	48名	「佐倉市社会福祉協議会についての理解を深める」
3月23日(土) 午前8時30分～	事務局	84名	「災害時対応訓練(緊急連絡・参集)」 ・メールの一斉送信による安否確認等の緊急連絡訓練 84名参加 ・徒歩や自転車等による参集訓練 17名参加

b 外部研修

開催日	研修名	参加者	会場
4月16日	認定調査研修	1名	県労福センター
4月24日	新人職員福祉入門講座	1名	県社会福祉センター
4月25日	日常生活自立支援事業初任者研修	2名	県社会福祉センター
4月27日	福祉施設の会計簿記(初級)	1名	県社会福祉センター

5月9日	介護支援専門員専門研修課程①	1名	青葉の森文化ホール
5月10日	認定調査員新規研修	1名	県教育会館
5月13日	介護支援専門員専門研修課程②	1名	青葉の森公園ホール
5月16日	介護支援専門員専門研修課程③	1名	青葉の森文化ホール
5月23日	管理職研修	1名	県社会福祉センター
5月25日	介護支援専門員専門研修課程④	1名	県労福センター
5月31日	新任貸付担当者・相談員研修会①	3名	県社会福祉センター
6月13日	介護支援専門員研修	1名	西部地域福祉センター
6月14～15日	新任管理者研修セミナー	1名	県社会福祉センター
6月17日	介護支援専門員専門研修 I	1名	労働者福祉センター
6月19日	身体障害福祉会指導者研修会	1名	四街道
6月22日	新任貸付担当者・相談員研修会②	3名	県社会福祉センター
6月25日	第3回スキルアップ講座	1名	千葉県生涯学習センター
6月29日	新任貸付担当者・相談員研修会③	3名	県社会福祉センター
7月9～11日	障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	2名	有明TFTビル
7月19～20日	関東ブロック社協職員合同研修	1名	群馬県水上市
7月26～27日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 I	3名	東京都灘尾ホール
7月27日	人事労務管理研修	1名	県社会福祉センター
8月 1日	佐倉市居宅介護支援専門員全体研修	3名	佐倉市立美術館
8月 1日	佐倉市主任介護支援専門員研修	1名	佐倉市立美術館
8月 3日	BCP(事業継続計画)セミナー	1名	労働者福祉センター
8月7日 9月15～16日	CSW育成研修	3名	千葉商工会議所 千葉県教育会館
9月14日	障害者虐待防止・権利擁護研修	1名	船橋市勤労市民センター
9月20日	「高齢者の医療と介護の知識」研修	1名	千葉市文化センター
9月20日	印旛郡市介護支援専門員協議会研修	3名	志津コミュニティセンター
10月9日	社会福祉法人会計基準講習会	1名	連合会館
10月16日	ガイドヘルパーフォローアップ研修	6名	視覚障害者 総合支援センターちば
10月23日	事務局長研修会	1名	県福祉センター
11月12日	認定調査研修	3名	社会福祉センター
11月21日～22日	パソコン講習会	1名	総評会館
11月27日	市町村社会福祉法人新会計規定についての研修	1名	県福祉センター
11月29日～30日	福祉サービス苦情解決担当者・第三者委員研修	2名	千葉市文化センター
11月29日	ホームページ担当者研修	1名	県福祉センター
12月1日	CSWフォローアップ研修	3名	県福祉センター
12月5日・15日・ 16日	ケアマネ実務従事者基礎研修 1～3回	1名	青葉の森公園芸術 文化ホール 千葉県労働者福祉 センター
12月18日～19日	品川区社会福祉協議会視察研修	2名	品川区社会福祉協議会
12月26日	社会福祉法人新会計基準対応社協モデル規程 研修会	1名	砂防会館
1月9日	日常生活自立支援担当者研修会	1名	県福祉センター
1月10日・18日	日常生活自立支援事業生活支援員担当者研修2回	1名	県福祉センター
1月24日	認知症の方に対する具体策事例研修	2名	佐倉市立美術館



2月8日	ケアマネ講習会実務従事者研修	1名	青葉の森公園芸術文化ホール
2月14日・17日	高齢者虐待防止対策研修	2名	県教育会館
2月15日	介護認定調査員現任研修	2名	成田国際文化会館
3月2日・3日	同行援護従事者養成研修	3名	西部地域福祉センター
3月7日～9日	同行援護従事者養成研修	3名	県視覚障害者福祉館

(ウ)職員人事交流

派遣期間	交流派遣先	派遣人数
4月1日～3月31日	千葉県社会福祉協議会へ派遣	1名
	千葉県社会福祉協議会から派遣	1名

(エ)衛生委員会

実施日	会場	出席者	内容
7月12日(木) 午後1時30分～	2階会長室	4名	・職員定期健康診断結果について ・職員執務場所等の状況確認について ・職員健康相談、面接の実施について
2月14日(木) 午後1時30分～	2階会長室	4名	・職員巡視の総括について ・職員定期健康診断の総括について ・次年度衛生業務計画について

(オ)産業医衛生業務

実施日	業務内容
4月19日(木) 午後1時30分～	・平成24年度業務実施打ち合わせ・社会福祉センター職員執務場所等の状況確認
5月10日(木) 午後1時30分～	・西部地域福祉センター職員執務場所等の状況確認・職員健康相談、面接
6月14日(木) 午後1時30分～	・南部地域福祉センター職員執務場所等の状況確認・職員健康相談、面接
8月 9日(木) 午後1時30分～	・市民公益サポートセンター職員執務場所等の状況確認・職員健康相談、面接
10月10日(水) 午後1時30分～	・職員健康相談、面接(事務局)
11月15日(木) 午後1時30分～	・職員健康相談、面接(サポセン)
12月 5日(水) 午後1時30分～	・職員健康相談、面接(西部)
1月 17日(木) 午後1時30分～	・職員健康相談、面接(南部)
3月 6日(水) 午後1時30分～	・職員健康相談、面接(事務局)

(カ) 情報管理システム及び体制の構築

情報管理機能の強化を図るため、情報管理要綱及び情報管理要領を定め、情報管理者及び情報管理担当者を設置し、全職員の情報管理意識の向上に向けた研修を行った。また、西部・南部地域福祉センター、市民公益活動サポートセンターとのセキュリティを強化した情報共有及び情報一元管理体制を構築するとともに、職員のパソコンのパスワードを管理し、定期的更新を行うことを常態化した。ウィルス対策としては、最新防御システムを導入した他、サーバー室の施錠やサーバー機格納庫を設置した。

(キ) 先進地視察による基盤強化の研究

長野県茅野市社会福祉協議会視察研修

日時	平成24年8月9日(木) 午後1時30分～3時
視察先	社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会
出席者	茅野市社協事務局長・担当職員1名、佐倉市社協職員3名
内容	茅野市社協の特徴としては、行政計画である「茅野市地域福祉計画(福祉21ビーンズプラン)」と地域福祉活動計画(市圏域)、地域福祉行動計画(地区社協圏域)が有機的に結びつき、これらを核に地域福祉の推進に取り組んでいる。特に、4エリアにある保健福祉サービスセンター全てに行政職員等と肩を並べて社協職員(CSW)を2名配置し、訪問による個別の地域自立生活支援活動を行っている。また、地区社協圏域では、同圏域のコミュニティ協議会と連携し、地域福祉行動計画を策定する他、自治会圏域では福祉推進委員の参画により福祉コミュニティづくり、住民主体の地域福祉の推進に取り組んでいる。一方社協の自主財源である会費については、普通会员1世帯1,000円を掲げ、「月にコーヒー1杯分で地域福祉を推進しよう」を合い言葉に財源確保に励んでいる。また、ボランティア市民活動の推進については、「茅野市ボランティア・市民活動センター強化プラン」を作成し、住民一人ひとりが地域福祉を創り出していく力を育むための指針となっている。今回の視察研修を通じて、地域福祉の推進方法として、社協が中域(佐倉市5圏域)に地域福祉専門職を配置する方向性は、佐倉市地域福祉計画・活動計画にも位置づけられているが、地域福祉を推進していくためにも重要なことである。

オ 会員募集  
実施内容

会員制度は、組織の根幹をなすものであり、会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源である。会費については全体に減少傾向にあり、社協説明会においての説明の他、地区社協や地域の懇談会等の機会を捉えて、会員制度についてのPRに努めた。また、特別会員(法人・団体)の加入増強を図り、実績を上げた。

(ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
一般会費	42,062世帯	42,345世帯	41,511世帯
	21,030,948円	21,172,846円	20,755,559円
賛助会費	88人	83人	83人
	92,000円	83,300円	83,000円
特別会費(個人)	214人	232人	254人
	457,000円	512,000円	516,425円
特別会費(団体)	103団体	96団体	74団体
	1,090,000円	1,000,000円	780,000円
合計	42,467組	42,756組	41,922組
	22,669,948円	22,768,146円	22,134,984円

(イ) 自治会・町会・区代表者への社協説明会

期 日	地 区	会 場
4月21日(土)	佐倉・内郷地区	佐倉市役所1号館6階会議室
4月21日(土)	根郷・和田・弥富地区	佐倉市役所1号館6階会議室
4月22日(日)	志津地区	志津コミュニティセンター
4月22日(日)	臼井・千代田地区	染井野小学校体育館
6月15日(金)	ビオウイング自治会	ビオウイング会議室
10月13日(土)	井野町一区町内会	井野町一区青年会館

(ウ) 法人会員募集の強化

理事、評議員、事務局が一体となって、法人会員拡大をめざし、各団体への説明等を行った結果、103団体の加入があった。

カ 事業委託契約

NO	事業名	契約先	契約期間	委託料
1	敬老事業業務委託契約	佐倉市	平成24年6月15日～ 平成25年1月16日	29,164,654円
2	声の広報等発行事業委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	149,286円
3	行旅死亡人墓参事業業務委託契約	佐倉市	平成24年7月9日～ 平成25年3月31日	23,880円
4	佐倉市難病患者等ホームヘルプサービス事業委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	家事援助1,040円/30分未満 身体援助 2,540円/30分未満
5	障害について学ぶ市民講座	佐倉市	平成24年6月1日～ 平成25年3月31日	1,100,000円
6	佐倉市福祉カー貸付事業管理運営委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	27,000円
7	佐倉市西部地域福祉センター指定管理業務委託契約	佐倉市	平成21年4月1日～ 平成26年3月31日	130,045,000円
8	佐倉市南部地域福祉センター指定管理業務委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	10,674,000円
9	佐倉市市民公益活動サポートセンター指定管理者業務委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成29年3月31日	72,205,000円
10	佐倉市介護予防支援業務委託契約	地域包括支援センター	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	4,206円/人・月
11	要介護認定調査業務委託契約	佐倉市	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	4,500円/件
12	千葉県後見支援センター事業業務委託契約	千葉県社会福祉協議会	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	6,080,000円
13	生活福祉資金貸付事務委託契約	千葉県社会福祉協議会	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	1,180,000円
14	臨時特別つなぎ資金貸付事業委託契約	千葉県社会福祉協議会	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	40,000円
15	高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金貸付事務委託契約	千葉県社会福祉協議会	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	26,000円
16	債権管理強化推進事業委託契約	千葉県社会福祉協議会	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	300,000円

(2) 地域福祉ネットワーク

ア 第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進

(ア) ともに歩むふくしプランⅡ推進委員会の開催

回数	開催日	会場	内容
第1回	5月22日(火)	地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議について</li> <li>・市社協の状況について</li> <li>・地区社協の状況について</li> <li>・障がい者団体等連絡会の実績報告について</li> </ul>
第2回	7月24日(火)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協の子育て支援事業の内容について</li> <li>・地区社協の活動状況について</li> </ul>
第3回	11月20日(火)	地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでも相談窓口及び(仮称)地域福祉サポーターについて</li> <li>・地域福祉フォーラムの開催について</li> <li>・地域福祉推進会議構成員の交替について</li> </ul>
第4回	2月12日(火)	地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでも相談窓口及び(仮称)地域福祉サポーターについて</li> <li>・地域福祉フォーラムの開催について</li> </ul>

(イ) 地域福祉推進会議(行政と協働開催)

回数	開催日	会場	内容
第1回	7月28日(土)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談窓口及び(仮称)地域福祉コーディネーターの設置について</li> <li>・なんでも相談窓口及び(仮称)地域福祉サポーターの設置について</li> </ul>
第2回	10月27日(土)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談窓口及び(仮称)地域福祉コーディネーターの設置について</li> <li>・なんでも相談窓口(仮称)地域福祉サポーターの設置について</li> <li>・地域福祉フォーラム開催について</li> </ul>
第3回	1月19日(土)	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における相談支援体制のイメージ図について</li> <li>・何でも相談窓口及び(仮称)地域福祉サポーターの設置について</li> </ul>

(ウ) プロジェクトチーム会議

地域福祉活動計画の推進をともに歩むふくしプランⅡ推進委員会と共同歩調により進めるため、事務局職員によるプロジェクトチーム(10名)による会議を月1回開催した。

回数	開催日	会場	内容
第1回	4月24日(火)	会長室	子育て支援について
第2回	5月15日(火)	会長室	子育て支援について
第3回	5月29日(火)	会長室	社協主体事業の見直し状況確認について
第4回	6月26日(火)	会長室	社協主体事業の見直し状況確認について
第5回	7月10日(火)	会長室	子育て支援事業の推進について
第6回	7月25日(水)	会長室	子育て支援事業の推進について
第7回	8月14日(火)	会長室	推進委員会報告と今後のすすめ方について
第8回	8月28日(火)	会長室	平成24年度社協の活動内容について
第9回	9月12日(水)	会長室	平成24年度社協の活動内容の見直しについて

第10回	10月10日(水)	会長室	平成24年度上期実績について
第11回	10月24日(水)	会長室	平成24年度上期実績について
第12回	11月14日(水)	会長室	学童保育所の指定管理受託について
第13回	11月21日(水)	会長室	学童保育所の指定管理受託について
第14回	12月12日(水)	会長室	(仮称)地域福祉サポーターについて
第15回	1月9日(水)	会長室	(仮称)地域福祉サポーターの養成について
第16回	1月23日(水)	会長室	(仮称)子育てサポーター養成講座について
第17回	2月13日(水)	会長室	ボラセン・サボセンの協働展開について
第18回	2月27日(水)	会長室	子育て支援団体等の連携強化について
第19回	3月13日(水)	会長室	子育て支援団体等の立ち上げ支援について
第20回	3月27日(水)	会長室	子育て支援団体等の立ち上げ支援について

イ 地区社会福祉協議会活動の推進

(ア) 地区社協会長一覧

NO	地区社協名	氏 名
1	佐倉東部	大木 律子
2	佐倉城の辺	山岸 洋子
3	内郷	櫻井 肇
4	根郷	安本 秀明
5	弥富	池澤 利一
6	和田	戸村 庄治
7	志津	藤澤 奎二
8	臼井	左奈田 雄一
9	千代田	大蔵 文子
10	志津南	古島 弘
11	ユーカーが丘	平野 協治
12	西志津	高橋 宗夫
13	うすい東	増田 征司
14	王子台	井田 陽一

(平成25年3月31日現在)

(イ) 地区社協会長・事務局長会議の開催(各3回)

No.	開 催 日	会 場	内 容
1	4月27日(金)	地下研修室	第1回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度社協活動・事務局体制について</li> <li>・地区社会福祉協議会活動について</li> <li>・敬老事業について</li> <li>・理事・評議員候補者の選出について</li> <li>・ともに歩むふくしプランⅡ推進委員会の推進について</li> <li>・地域福祉フォーラムについて</li> <li>・会員募集について</li> <li>・社協の保険について</li> </ul>
2	5月15日(火)	地下研修室	第1回地区社協事務局長会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協の運営について</li> <li>・地区社協会長会議の報告</li> <li>・敬老事業について諸連絡</li> </ul>
3	8月1日(水)	地下研修室	地区社協会長・事務局長・敬老事業担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費の納入状況について</li> <li>・福祉功労者の推薦について</li> <li>・訪問介護員2級養成研修の実施について</li> <li>・敬老事業について</li> <li>・これからの敬老事業のあり方について</li> <li>・地区社協運営費あり方検討会設置について</li> </ul>
4	10月30日(火)	3階中会議室	臨時地区社協事務局長・敬老担当会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度敬老会の状況について</li> <li>・今後の敬老会のあり方について</li> </ul>
5	11月28日(水)	地下研修室	臨時地区社協会長会議(今後の敬老会のあり方について) <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉市の敬老事業を取り巻く状況</li> <li>・臨時地区社協事務局長・敬老事業担当者会議報告</li> </ul>

6	1月30日(水)	地下研修室	第3回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ともに歩むふくしプランⅡの推進状況について</li> <li>・市社協重点事項について</li> <li>・地域福祉フォーラムについて</li> <li>・平成25年度地区社協関係日程について</li> <li>・敬老事業について</li> <li>・地区社協運営費のあり方検討会の報告について</li> <li>・会費の納入状況について</li> </ul>
---	----------	-------	---

(ウ)地区社協役員等研修

No.	開催日	会場	内容
1	7月7日(土)	和田ふるさと館 ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「地域の福祉力を高める住民主体の防災活動」 講師:菱沼幹男氏(日本社会事業大学専任講師)</li> <li>・寸劇:志津南地区社協の劇団「南座」 テーマ「認知症があってもこの町で～地域で支えあおう～」</li> <li>・浦安市社会福祉協議会の震災対応</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・講評、まとめ</li> </ul> 参加者数:64名

(エ)課題別検討会議の開催

No.	開催日	会場	内容
1	5月31日(木)	社会福祉 センター 地下研修室	テーマ:「子育て支援について話し合おう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援」地区社協事例発表</li> <li>・意見交換</li> <li>・情報交換</li> </ul> 事例発表:佐倉東部地区社協、根郷地区社協、千代田地区社協 参加者数:39名
2	6月26日(火)	志津コミュニ ティセンター ホール	テーマ:「障がいについて話し合おう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者施設音楽サークルとボランティアグループによる演奏</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・意見・情報交換・質疑応答</li> </ul> 参加者数:51名
3	12月6日(木)	京成志津駅 北口ハチヤ プラザ3F	テーマ:「近隣の助け合い活動の充実」について話し合おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告・発表</li> <li>・意見・情報交換・質疑応答</li> </ul> 参加者数:30名

(オ)地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者食事サービス		広報発行
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	4回	15回	1回	37人	3回	59人	2回
2	佐倉城の辺	3回	17回	1回	40人	2回	76人	3回
3	内郷	6回	12回	2回	78人	2回	52人	2回
4	根郷	4回	18回	3回	106人	1回	31人	3回
5	弥富	5回	5回	1回	28人	2回	44人	3回
6	和田	3回	5回	3回	73人	4回	127人	4回
7	志津	4回	12回	3回	51人	0回	0人	3回



8	白井	9回	8回	0回	0人	1回	68人	4回
9	千代田	4回	12回	2回	26人	1回	40人	3回
10	志津南	5回	20回	2回	184人	4回	114人	3回
11	ユーカリが丘	4回	11回	6回	182人	3回	86人	3回
12	西志津	4回	12回	1回	70人	1回	60人	4回
13	うすい東	8回	16回	1回	50人	3回	54人	4回
14	王子台	12回	12回	1回	62人	3回	84人	3回
合計		75回	175回	27回	987人	30回	910人	42回

(カ) 地区社協のおもな活動

1.高齢者福祉事業	ア. 75歳以上の高齢者を対象とした敬老事業の開催(敬老事業の項参照)
	イ. ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
	ウ. ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
	エ. グランドゴルフ大会の開催
2.障がい者・児福祉事業	ア. 社会福祉施設への訪問
	イ. 障がい者・児への援助活動
	ウ. 障がい者・児とその家族との交流
3.児童・青少年福祉事業	ア. 児童・青少年健全育成活動
	イ. 各種スポーツ大会の開催
4.母子・父子福祉事業	ア. 地区親子会への協力
5.地域福祉活動	ア. 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会・講座の開催
	イ. 生活改善、環境美化運動の推進
	ウ. 社会福祉協議会会員の募集
	エ. 地域行事への参加、援助、協力
	オ. 社会福祉団体の育成、援助
	カ. 社会福祉に関する調査、研究、PR活動
6.募金活動	ア. 共同募金運動への協力(共同募金事業の項参照)、10月からの赤い羽根・12月末の歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
	イ. 「愛の箱」募金活動
7.研修事業	ア. 研修会、福祉講演会等の開催及び参加
8.広報活動	ア. 地区社協広報紙の発行(自治会・町内会等を通じ配布)
	イ. ホームページの開設(既設地区:内郷、志津、白井、千代田、ユーカリが丘、西志津、王子台)
9.その他	ア. 福祉まつり・バザーの実施
	イ. いきいきサロン・100円喫茶の運営
	ウ. 子育て支援事業
	エ. 世代間交流事業(昔あそび、ふれあい昼食会など)
	オ. 学校行事支援

(キ)地区社協運営費のあり方検討会議

NO.	日 程	会 場	内 容
1	11月28日(水)	社会福祉センター 地下研修室	1. 会長・副会長選出 2. これまでの状況説明 3. 事務局案について
2	12月13日(木)	社会福祉センター 地下研修室	1. 会長再選出について 2. 第1回目の振り返り 3. 前回協議による試算案について 4. 協議 5. 意見交換
3	1月24日(木)	社会福祉センター 地下研修室	1. 第2回目の振り返り 2. 前回協議による試算案について 3. 協議 4. 答申書(案)の協議 5. 答申

ウ 団体活動支援・連携  
実施内容

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市社会福祉施設協議会及び佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援をし、各団体、行政との連携を図った。

(ア)佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援(定例会3回等)

No.	開催日	会場	内容
1	5月1日(火)	社会福祉センター 地下研修室	第1回定例会 ・平成24年度事業計画、予算について ・平成23年度事業報告、決算、監査報告について ・合同就職フェアについて ・佐倉市保健福祉施策への要望事項について ・佐倉市社会福祉協議会Iとともに歩むふくしプランII推進委員Iの選出について ・情報交換等
2	8月2日(木)	社会福祉センター 地下研修室	第2回定例会 ・第1回職員合同研修会について ・福祉避難所の設置運営に関する個別協定について ・情報交換 ・佐倉市長との懇談会
3	3月12日(火)	ウイシュトンホテル	第4回定例会 ・平成24年度第1回研修会について ・平成25年度事業計画等協議 ・情報交換 ・佐倉市長との懇談会

※第3回定例会 2/6(水)は降雪のため中止。書面会議となる。

・「合同就職フェア」の開催

開催日 8月26日(日)

場所 ミレニアムセンター佐倉第1, 2, 3, 4会議室

来場者 34名

実行委員会の開催2回 (5/17、6/22)

(イ)佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援

・運営委員会

No.	開催日	会場	内容
1	7月25日(水)	西部地域福祉センター	第6回報告会について(反省) ・障害者卓球について ・第3期障害福祉計画について ・佐倉市自立支援協議会委員の推薦について ・地区社協課題別検討会議について(反省) ・11月18日(日)開催の交流会について ・ともに歩むふくしプランⅡについて ・各団体の話題について
2	9月26日(水)	西部地域福祉センター	・報告 ・障害について学ぶ市民講座の実施について ・佐倉市障がい者団体等連絡会と佐倉市ボランティア連絡協議会との交流会について ・第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進について(出前講座の開催・討論会等) ・社協の話題、各団体の話題、ご提案
3	11月28日(水)	西部地域福祉センター	・各委員会等報告 ・佐倉市ボランティア連絡協議会との交流会について ・志津公民館新築工事に係る申し入れについて ・第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進について ・各団体の話題
4	1月23日(水)	西部地域福祉センター	・各委員会等報告 ・第4次佐倉市地域福祉活動計画の推進について ・各団体の話題
5	3月27日(水)	西部地域福祉センター	・各委員会等報告 ・佐倉市ボランティア連絡協議会との交流会冊子について ・次年度役員について ・平成25年度事業計画、予算について ・各団体の話題

・報告会、総会

開催日	会場	内容
5月23日(水)	西部地域福祉センター	第6回報告会(平成24年度報告会)
		・平成23年度事業報告について
		・平成23年度決算報告並びに監査報告について
		・平成24年度事業計画、事業予算について

(ウ)印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対象	印旛地区中途失聴・難聴者
日程	平成24年4月7日～平成25年3月15日 全21回
会場	中央公民館他

エ 民生委員・児童委員関連業務

・佐倉市民生委員・児童委員協議会地区会長会議及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。

・歳末たすけあい運動を通じて、在宅の要援護者の把握と福祉サービスに対するニーズの把握、需給調整を行った。歳末たすけあい募金配分内容については、募金額内で配分を行った。

・事例検討や定例会での協議を中心に、住民の生活課題への検討・協議を行った。

### (3) ボランティアセンター

#### ア ボランティアセンター事業

##### 実施内容

小地域福祉活動の推進や、ボランティアによる一人ひとりの生き方に寄り添う支援の展開、住民のボランティア・市民活動への参加を促進し、すべての人が対等に参加できる社会づくりに取り組んだ。支援を希望する相談には、自助・公助の隙間を埋める役割をもつボランティアの基本を大切にしながら、民生委員や関係機関などと連携し、近隣住民との関係づくりの支援にも取り組んだ。

#### (ア) ボランティアグループ、個人ボランティアの活動支援

運営上・活動上の相談や、活動先とのコーディネートを通して、個人やグループのボランティア活動を支援した。

##### 施設ボランティア担当者連絡会

日時	5月30日(水)午後1時30分～午後3時30分
会場	社会福祉センター地下研修室
内容	日頃、ボランティアを受け入れている市内の施設、病院に呼びかけ12施設12名の参加により、ボランティアセンターとの情報交換を行った。また、各施設の災害時の対応方法やボランティアニーズについて発表してもらった。

##### 食事サービスグループ懇談会

日時	6月20日(水)午前11時30分～午後1時30分
場所	南部地域福祉センター 研修室
参加者	9団体 35名
内容	勉強会:活動中に災害が発生したときの対応について 交流会:お弁当箱の中の隙間を埋めるひと品で「春野菜」を材料として各グループ自慢の品(数点)を持ち寄り、試食を通じて交流・情報交換を行った。

##### いきいきサロングループ懇談会

日時	6月27日(水)午後1時30分～午後3時30分
場所	社会福祉センター 地下研修室
参加者	3団体 9名
内容	懇談テーマ:活動中に災害が発生したときの対応について

##### 災害ボランティア研修会(第1回)

日時	9月1日(土)午前8時30分～午後4時30分
場所	旭市飯岡地区仮設住宅
参加者	16名
内容	旭市、旭市社会福祉協議会、千葉県生活支援アドバイザー等の協力により、仮設住宅居住者へのニーズ調査の上で、エアコンフィルター・網戸の清掃作業を行った。

##### 災害ボランティア研修会(第2回)

日時	11月3日(土)午前8時30分～午後5時
場所	旭市飯岡地区仮設住宅
参加者	32名
内容	旭市役所の協力により、仮設住宅敷地内の3カ所にチューリップの球根を植える活動を行った。また、移動中のバスの車中で旭市制作の東日本大震災を記録したDVDを視聴した。

佐倉市市民防災訓練

日 時	10月21日(日)午前9時～午後0時30分
場 所	井野中学校
参加者	約200名
内 容	災害ボランティア活動への啓発と報告としてパネル展示を行った。

ボランティア会議

日 時	2月26日(火)午後1時30分～午後2時30分
場 所	西部地域福祉センター・会議室
参加者	41グループ・71名、個人4名
内 容	ボランティアセンターの事業報告、次年度の事業方針等

ボランティア研修

日 時	2月26日(火)午後2時30分～午後3時30分
場 所	西部地域福祉センター・会議室
参加者	40グループ・69名、個人6名
内 容	障がいを持つ方から、日常生活の様子や思い等を伺い、必要な活動とは何かを考えた。

ボランティア入門講座

日 時	7月5日(木)～7月26日(木)の毎週木曜日4回 午後1時30分～午後3時30分
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	14名
内 容	障がいや高齢に伴う状況に理解を深め、ボランティア活動への基礎を学ぶことを目的に開催

ボランティア専門講座

日 時	10月11日(木)午後1時～午後3時 (参加者40名) 10月18日(木)午前10時～午後3時 (参加者27名) 10月25日(木)午前10時～午後3時 (参加者21名) 11月 1日(木)午後1時～午後3時 (参加者23名)
場 所	佐倉ミレニアムセンター大ホール及び会議室
内 容	よい聞き手となる為に傾聴の意味と意義を学び、2人1組で対話の訓練ロールプレイ実習を行いました。

(イ)グループ活動費助成の交付

ボランティアグループの活動の育成を図ることを目的に、交付した

a 公開研修及び活動助成

助成金交付グループ 8団体 総助成額 409,373円

公開研修(内訳)

No.	グループ名	金額
1	草笛&リーフル「ハッピー〇はっば」	10,000円
2	点訳サークル野菊の会	40,000円

活動助成（内訳）

No.	グループ名	金額
1	かぶらぎボランティア	80,000円
2	ボランティア桜	55,773円
3	人づくり街づくり環境づくり	50,000円
4	虹の会	60,000円
5	ミュージックベル・歌あそび	80,000円
6	まあるい会	33,600円

b 在宅福祉活動ボランティア団体支援（内訳）

助成金交付グループ 16団体 総助成額440,000円

No.	グループ名	金額
1	点訳サークル野菊の会	20,000円
2	佐倉市こおろぎの会	30,000円
3	むぎの会	30,000円
4	楡の会	30,000円
5	ありんこグループ	30,000円
6	ユーカリ和の会	30,000円
7	井野西ボランティアグループ	25,000円
8	ふきのとう	30,000円
9	チューリップの会	30,000円
10	井野町銀鈴会	30,000円
11	すおうの輪	15,000円
12	ふれあいいきいきサロン白銀	30,000円
13	とまとの会	30,000円
14	やまぶき	30,000円
15	ふれあいいきいきサロン「なごみの会」	30,000円
16	いきいきサロン王子台	20,000円
合計		440,000円

c ボランティアの登録と斡旋

グループ登録数 91団体 2,629名

個人ボランティア登録者数 128名

d コーディネート・相談

相談に対するコーディネート

支援希望相談	126件
活動希望相談	53件
情報提供	56件

出張ボランティア相談

11月23日（金）志津・ユーカリ合同ふくしま祭り会場にて

2月9日（土）ボランティアのつどい会場にて



e ボランティアコーディネーターの設置

今年度から常勤体制でボランティアコーディネーター1名を配置し、コーディネート機能の充実を図った。また、各種研修会に積極的に参加することで、ボランティアコーディネーターのスキルアップや、関係機関とのネットワーク強化など、センター機能の強化をはかることができた。

f ボランティア情報提供

(a) ボランティア情報提供

- ・ボランティア募集、助成金情報など情報提供(随時)
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供(随時更新)
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載

(b) ボランティア体験情報の継続提供

前年度に引き続き、ボランティア体験情報に通年で体験受入可能な機関の情報も提供することで、より身近にボランティア活動体験に参加できる体制づくりに務めた。

g ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回	5月21日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	【報告事項】	①平成23年度ボランティア活動助成事業の報告について
		②平成24年度ボランティア活動助成事業の応募状況について
		③平成24年度ボランティア入門・専門講座について
		④佐倉ロータリークラブ招待慰労ボーリング大会について
		⑤ボランティアセンターの相談状況
【協議事項】	①災害ボランティアセンターについて ②ボランティア連絡協議会について	
【出席者数】	運営委員9名(欠席3名)	
【傍聴者数】	1名	

第2回	7月23日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	【報告事項】	①平成24年度ボランティア活動助成事業について
		②各種懇談会(食事・サロン・施設)について
		③平成24年度ボランティア入門・専門講座について
		④ボランティアセンターの相談状況
	【協議事項】	①今後のボランティア活動助成事業について
【その他】	①「佐倉被災地支援の会」の活動支援について ②旭市仮設住宅等支援活動について	
【出席者数】	運営委員10名(欠席2名)	
【傍聴者数】	1名	

第3回	9月24日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	【報告事項】	①「佐倉被災地支援の会」の活動支援について(報告)
		②旭市仮設住宅等支援活動について(報告)
		③ボランティアセンターの相談状況
	【協議事項】	今後のボランティア活動助成事業について(助成金部会報告)
【出席者数】	運営委員9名(欠席3名)	
【傍聴者数】	1名	

第4回	11月19日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	【報告事項】	①旭市仮設住宅等支援活動(第2回)の報告について
		②佐倉市民防災訓練について
		③平成24年度ボランティア専門講座(傾聴講座)について
		④第31回ボランティアのつどいについて
		⑤災害時のボランティア活動に関する協定の締結について
⑥ボランティアセンターの相談状況		
【協議事項】	ボランティア活動助成金について	
【出席者数】	運営委員7名(欠席5名)	

第5回	1月21日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	【報告事項】	①障害者作品展の報告について
		②福祉教育サポーター研修について
		③ボランティアセンターの相談状況
	【協議事項】	①平成25年度ボランティア活動助成金の推奨テーマについて
②今後の災害時対応について		
【出席者数】	運営委員10名(欠席2名)	

第6回	3月18日(月)午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室		
	【報告事項】	①第31回ボランティアのつどいについて	
		②会議等報告(助成金変更説明会・ボランティア会議)	
		③ボランティアセンターの相談状況	
	【協議事項】	①平成25年度ボランティアセンター事業について	
		②佐倉市ボランティア連絡協議会について	
【出席者数】	運営委員6名(欠席6名)		
【傍聴者数】	1名		

・ボランティアセンター運営委員会部会

- (助成金部会)第1回 4月23日(月)午前10時～正午  
 第2回 8月24日(金)午前9時30分～正午  
 第3回 9月10日(月)午後3時～午後5時  
 第4回 11月12日(月)午前10時～正午

#### h ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

第1回	5月31日(木) 午前9時30分～正午	
	①委嘱状交付、②選考方法について	
第2回	6月15日(金) 午前9時30分～正午	
	選考	
第3回	6月29日(金) 午前9時30分～正午	
	①選考、②答申内容の確認について、③社会福祉協議会会長へ答申	

i ボランティア活動助成金変更説明会の開催

第1回	1月29日(火) 午後1時30分～午後3時
	参加者 22団体35名
	社会福祉センター地下研修室
第2回	1月31日(木) 午後6時30分～午後8時
	参加者 5団体10名
	西部地域福祉センター会議室
第3回	2月2日(土) 午前10時～正午
	参加者 8団体14名
	社会福祉センター地下研修室

j 災害時におけるボランティア活動に関する協定

協定締結日	締結内容
11月21日(水)	佐倉市と佐倉市社会福祉協議会との間で、「佐倉市地域防災計画」に基づき、災害時における円滑なボランティア活動等を推進するため、災害ボランティアセンターの開設・運営に関して、必要な事項を定める協定を締結した。

イ 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

活動費助成	400,000円
活動内容等	運営委員会開催、勉強会の開催、広報誌発行、ボランティアのつどい開催準備、収集ボランティア活動の実施 等
支援内容等	役員会への出席(6回)、活動上の相談、連絡調整

ウ 第31回ボランティアのつどい開催

日 時	2月9日(土)午前10時～午後3時
活動内容等	ボランティアのつどい開催 佐倉市ボランティア連絡協議会と共催、2/9会場:志津コミュニティセンター
参加者数	760名
支援内容等	実行委員会への出席(11回)、活動上の相談、連絡調整

ウ 福祉教育推進事業

(ア)福祉学習に関する企画・実践への支援

地区社協エリア	学校(学年)	支援内容
佐倉東部	佐倉東小学校 (5年生68名及び保護者)	6月21日(木) 手話ダンスの体験及び交流。
根郷	根郷中学校 (2年生94名)	6月20日(水)・27日(水) (1年生及び福祉講話にて「視覚障がい者の生活を知る」「内部障がいについて知り、支えることを考える」というテーマに応じた福祉学習の企画の相談に応じ、講師への連絡調整を実施。
	根郷小学校 (5年生107名)	10月29日(月) 視覚障がい者との交流、講話を実施。実施
臼井	王子台小学校 (5年生90名)	9月25日(火) 視覚障がい者との交流、講話を実施
	王子台小学校 (5年生90名)	10月11日(木) アイマスク体験(視覚障がい疑似体験)
	間野台小学校 (5年生72名)	6月26日(火) 視覚障がい者との交流、講話を実施。
ユーカーが丘	志津小学校 (4年生63名)	6月25日(月) 聴覚障がい者の講話を実施。
	志津小学校 (5年生61名)	1月22日(火) 車いす体験の実施
	志津小学校 (3年生64名)	11月19日(月) 視覚障がい者との交流、講話を実施 また、アイマスク体験の実施
志津南	下志津小 (4年生)	6月18日(月)～20日(水) 車イス・高齢者疑似体験の貸出セットによる体験実施

(イ)福祉教育サポーター研修会

日時	12月15日(土)午前9時30分～午後4時
場所	社会福祉センター・地下研修室
参加者	個人13名
内容	市内小中学校への支援時に協力していただくボランティアの育成を目的に、車いすの操作、アイマスク体験、高齢者疑似体験について指導時のポイントなどを学んだ。

(ウ)会議・研修会への参加

平成24年度千葉県福祉教育推進関係者会議・福祉教育推進員養成研修

開催日	4月26日(木)、7月30日(月)、8月9日(木)、8月21日(火)、8月27日(月)
場所	千葉県教育会館
主催	千葉県社会福祉協議会・千葉県福祉教育推進連絡会議
内容	講義、実践発表、疑似体験、演習、体験学習等

(4) 企画広報  
 ア 広報啓発事業  
 実施内容

市民に対し、社会福祉への理解と積極的な参加協力を促進するため、広報活動を展開した。「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を定期的に発行し、読者拡大と社会福祉協議会への関心と理解、協力を得るように活動した。また記事に面白みを持たせるため、取材可能な記事があれば積極的に取材し、紙面作成に努めた。

(ア) 社協さくらの発行

No.	号数	発行年月日	発行部数(部)	折込部数(部)
1	第168号	平成24年5月1日	58,220	57,420
2	第169号	平成24年7月1日	58,200	57,420
3	第170号	平成24年10月1日	58,200	57,420
4	第171号	平成24年12月1日	58,200	57,420
5	第172号	平成25年3月1日	58,200	57,420

(イ) 広報委員会の開催

No.	号数	回数(回)	開催日
1	第168号	5	3月5日・19日・26日、4月3日・9日
2	第169号	5	5月7日・21日・28日、6月4日・11日
3	第170号	5	7月30日、8月13日・27日、9月3日・10日
4	第171号	5	10月1日・15日・22日・29日、11月5日
5	第172号	5	1月7日・21日・28日、2月4日・12日

(ウ) ホームページ

6月にホームページのリニューアルを行い、随時掲載内容を更新・改訂し、地域福祉活動についての情報を提供した。

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>  
 アクセス数 15,371 3/31現在 (月平均1,281件)

過去3カ年のアクセス数比較

年度	アクセス数	月平均アクセス数
24	15,371	1,281
23	15,973	1,331
22	15,601	1,300

(エ) ホームページ担当者会議の開催

回数	開催日	会場	内容
1	5月8日(火)	2階会議室	ホームページ担当者の役割について
2	6月21日(木)	2階会議室	リニューアル予定のホームページについて
3	7月18日(水)	2階会議室	リニューアルしたホームページについて
4	8月22日(水)	2階会議室	会員募集の掲載について
5	9月25日(火)	2階会議室	共同募金・移動サービスの掲載について
6	10月23日(火)	2階会議室	ボランティアセンターについて
7	11月14日(水)	2階会議室	上期監査の指摘事項について
8	12月12日(水)	2階会議室	歳末たすけあい運動について
9	1月22日(火)	2階会議室	市町村社協広報担当者研修の報告
10	2月19日(火)	2階会議室	県内市町村社協のホームページ
11	3月26日(水)	2階会議室	トップページの業者委託について

(オ) その他の広報活動

No.	内容
1	会員募集並びに会費納入について(全世帯回覧)
2	佐倉市「こうほう佐倉」に各種社協行事及び参加事業等掲載
3	地方紙に行事のお知らせを掲載
4	CATV296に情報提供
5	千葉県社協広報紙「福祉CHIBA」を関係者に配布

(5)受託事業  
ア 敬老事業  
実施内容

敬老事業を地域福祉活動や絶好の安否確認のチャンスと捉え、各地区の特性を生かしながら地域住民とともに地域ぐるみ福祉を推進することを目的に、敬老記念品を贈呈するとともに敬老会を実施した。対象者が増加する中、今後のあり方にも課題が残っているところである。

(ア)対象者数

地区社協等	開催日(曜日)	会 場	対象者数(人)※	出席数(人)	出席率
佐倉城の辺地区	9月16日 (日)	佐倉市中央公民館	712	242	34.0%
佐倉東部地区	9月17日 (月)	佐倉市中央公民館	2,341	660	28.2%
	9月30日 (日)	佐倉東小学校体育館			
	10月7日 (日)	白銀小学校体育館			
井野町二区	9月17日 (月)	井野町会館	213	83	39.0%
志津南地区	9月23日 (日)	南志津小学校体育館	1,681	583	34.7%
	9月30日 (日)	南志津小学校体育館			
	9月30日 (日)	はらトピア			
臼井地区	9月26日 (水)	佐倉市民音楽ホール	1,201	348	29.0%
王子台地区	9月27日 (木)	佐倉市民音楽ホール	816	234	28.7%
うすい東地区	9月28日 (金)	佐倉市民音楽ホール	966	252	26.1%
志津地区	9月28日 (金)	上志津小学校体育館	1,980	649	32.8%
	9月29日 (土)	志津中学校体育館			
	10月12日 (金)	井野小学校体育館			
ユーカーが丘地区	9月29日 (土)	青菅小学校体育館	2,056	578	28.1%
	10月13日 (土)	志津コミュニティセンター			
	10月14日 (日)	志津コミュニティセンター			
	10月20日 (土)	志津小学校体育館			
内郷地区	9月29日 (土)	内郷小学校体育館	816	161	19.7%
西志津地区	9月30日 (日)	西志津ふれあいセンター	1,031	530	51.4%
千代田地区	9月30日 (日)	千代田小学校体育館	989	221	22.3%
根郷地区	10月7日 (日)	根郷小学校体育館	2,025	640	31.6%
弥富地区	10月7日 (日)	弥富小学校体育館	377	82	21.8%
和田地区	10月7日 (日)	和田ふるさと館	331	80	24.2%
合 計			17,535	5,343	30.5%

※対象者数:開催時現在

(イ)記念品の贈呈

75歳以上	昭和12年12月31日以前生まれの方に記念品として『膳工房 御用達セット』を贈呈した。
満90歳	大正11年1月1日～12月31日生まれの方に記念品『東洋紡 ニューマイヤー毛布』を宅配により贈呈した。 対象者数:350人 届け日:24年9月17日～19日

## イ 行旅死亡人等墓参事業

### 実 施 内 容

身寄りのない物故者の冥福を祈ることを目的として春季・秋季及び盆の年3回墓参を行う。春季・秋季については、行政関係職員、市社協会長・副会長、佐倉地区の地区社会福祉協議会会長等が墓参を行い、盆については市社協で墓参を行った。

・墓参 勝寿寺無縁納骨塔(弥勒寺)・東慶院無縁納骨塔(大蛇町)

1	盆 墓 参	8月10日(金) 午後 1時～午後 2時	参列者 2名
2	秋季墓参	9月13日(木) 午前10時～午前11時	参列者 10名
3	春季墓参	3月21日(木) 午前10時～午前11時	参列者 12名
納骨塔での安置数		勝寿寺納骨塔(71体) 東慶院納骨塔(53体)	

ウ 障がい者社会参加促進事業

実施内容

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を音声や点字に変換して提供した。

(ア) 声の広報等発行事業

【音 訳】

発行広報	発行回数	送付数
こうほう佐倉	24回	28人／1回あたり
ちば県民だより	12回	26人／1回あたり
月刊こおろぎ	12回	28人／1回あたり
社協さくら	5回	28人／1回あたり
市議会だより	4回	28人／1回あたり
健康カレンダー	1回	28人／1回あたり
みんなの保健	1回	28人／1回あたり
風媒花25号	1回	28人／1回あたり
ごみカレンダー	1回	28人／1回あたり
千葉県知事選挙公報	1回	28人／1回あたり
衆議院議員選挙・最高裁判 時国民審査広報	1回	28人／1回あたり
高齢者の健康・福祉特集号	1回	28人／1回あたり
第5期佐倉市高齢者福祉・ 介護計画	1回	28人／1回あたり
依頼図書	5回	28人／1回あたり
障害のある人もない人も共 に暮らしやすい千葉県条例 解釈指針	1回	28人／1回あたり
障害のある人もない人も共 に暮らしやすい千葉県条例 及び障害者虐待防止法	1回	28人／1回あたり
障害者虐待防止法 パンフレット	1回	28人／1回あたり
計	73回	

【点 訳】

発行広報・書類	発行回数	送付数
野菊通信	10回	20人／1回あたり
盲学校学習資料	3回	3人／1回あたり
個人依頼	3回	5人／1回あたり

※その他会議資料点訳



(イ)障害について学ぶ市民講座

※佐倉市障害者自立支援協議会各部会との連携により実施

講演会①「子どもの発達を支える」 ※自立支援協議会療育部会協力

日 時	9月22日(土)午前10時～正午
場 所	志津コミュニティセンター 2F大会議室
参 加 者	45名
講 師	桑田 良子(植草学園大学発達教育学部教授)

講演会②「障害者雇用の可能性～多様な働き方を目指して～」 ※自立支援協議会就労部会協力

日 時	9月28日(金)午後2時～午後4時
場 所	ミレニアムセンター佐倉 2Fホール
参 加 者	75名
講 師	平田 智子(社会福祉法人生活クラブ風の村事業本部企画部次長)

講演会③「精神障害者を地域で支えるには」 ※精神部会協力

日 時	10月25日(木)午後6時～午後8時
場 所	佐倉市役所 1号館6F会議室
参 加 者	30名
講 師	橋本 美枝(成田市地域生活支援センター施設長)

シンポジウム「自分らしく生きたい～地域で共に暮らす～」 ※啓発・権利擁護部会協力

日 時	12月7日(金)午前10時～12時
場 所	佐倉市立美術館 4Fホール
参 加 者	87名
シンポジスト	立澤 洋子、高橋 正彦、秋山 好子、大宮 美華
コーディネーター	大久保 和夫

障害者作品展 ※啓発・権利擁護部会協力

日 時	12月7日(金)～9日(日)午前10時～午後4時
会 場	佐倉市立美術館 3F市民ギャラリー
作 品 出 展	137件 (個人112件・団体25件)
作 品 数	422点 (個人275点・団体147点)
来 場 者	907名

障害者作品展実行委員会

第1回	日時	7月31日(火)午前10時～正午
	場所	社会福祉センター 地下研修室
	参加者	実行委員16名、その他6名
	議題	実行委員長・副委員長選出、作品募集について、チラシ等について等
第2回	日時	8月30日(木)午後1時30分～午後3時30分
	場所	社会福祉センター 地下研修室
	参加者	実行委員16名、その他4名
	議題	募集方法について、PR方法について、参加賞について等
第3回	日時	10月3日(水)午後1時30分～午後3時30分
	場所	佐倉市立美術館 4Fホール
	参加者	実行委員18名、その他4名
	議題	会場の確認、募集状況、当日の役割確認について
第4回	日時	11月20日(火)午後1時30分～午後3時30分
	場所	社会福祉センター 3F小会議室
	参加者	実行委員17名、その他4名
	議題	募集状況について、当日の役割分担について
第5回	日時	12月21日(金)午後1時30分～午後3時30分
	場所	社会福祉センター 2F会議室
	参加者	実行委員18名、その他4名
	議題	アンケート集計報告、意見・反省等、来年度に向けて

出前講座 ※生活支援部会協力

第1回	日 時	6月9日(土)午前10時30分～正午
	場 所	西部地域福祉センター 研修室
	参加者	25名(志津北部地区民児協)
	講 師	城所 文恭(中核地域生活支援センターすけっと)
	テーマ	精神障害について
第2回	日 時	10月24日(水)午後2時～午後4時
	場 所	ニチイケアセンター佐倉
	参加者	20名(ニチイケアセンター職員等)
	講 師	城所 文恭(中核地域生活支援センターすけっと)
	テーマ	精神障害について
第3回	日 時	12月14日(金)午後1時～午後3時
	場 所	中央公民館
	参加者	24名(佐倉市民カレッジ)
	講 師	小倉 亜津子(中核地域生活支援センターすけっと)
	テーマ	障害者へのサポートとは
第4回	日 時	2月9日(土)午前10時～午後3時
	場 所	志津コミュニティセンター
	参加者	15名(ボランティアのつどい)
	講 師	雨宮 米蔵、小倉 亜津子(中核地域生活支援センターすけっと)
	テーマ	コミュニケーションボード解説
第5回	日 時	2月18日(月)午後2時～午後4時
	場 所	ニチイケアセンター佐倉
	参加者	10名(ニチイケアセンター職員等)
	講 師	城所 文恭(中核地域生活支援センターすけっと)
	テーマ	精神疾患の支援方法

エ 福祉カー貸出事業  
実施内容

市内に居住する心身障がい者(児)及び虚弱な高齢者等、社会福祉団体及び社会福祉施設に車椅子のまま乗降できるリフト付きのワゴン車の貸し出しを行った。身体の不自由な方の外出の利便を図ることにより社会参加を促進し、福祉の向上を図った。

(ア)利用者別件数(申請35件 キャンセル4件)

対象/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
高齢者	3	3	0	0	0	1	7
障がい者	2	8	5	3	4	6	28
その他施設団体	0	0	0	0	0	0	0
件数	5	11	5	3	4	7	35
(キャンセル数)	-2	-1	(0)	(0)	(0)	-1	-4

対象/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間計
高齢者	1	2	1	0	0	4	8	15
障がい者	3	1	4	5	2	1	16	44
その他施設団体	0	0	1	0	1	0	2	2
件数	4	3	6	5	3	5	26	61
(キャンセル数)	-2	-1	-1	(0)	(0)	-1	-5	-9

(イ)目的別件数

目的	旅行・外出	通院	行事	送迎等	合計
件数	10	29	9	13	61

(ウ)利用者別件数年度比較

対象/月	24年度	23年度	22年度
高齢者	15	10	12
障がい者	44	44	58
その他施設団体	2	5	3
件数	61	59	73
(キャンセル数)	-9	-3	-10

(エ)目的別件数

目的	旅行・外出	通院	行事	送迎等	合計
件数	10	29	9	13	61

オ 生活福祉資金並びに高齢者及び重度障害者居室等増改築・改造資金(老障資金)貸付事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会から受託しているこの事業は、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者・児世帯に対して、経済的自立と更生意欲の助長促進を図ることを目的として必要な資金の貸付を行い、その後も継続して、民生委員との連携の元で借受世帯の生活を見守るとともに、高齢者及び重度障がい者と生計を同一にする家族に対し、高齢者等の専用居室を増改築するために必要な資金を貸付し、好ましい家族関係の維持に寄与した。

(ア)生活福祉資金貸付件数

(平成25年3月31日現在)

資金種類	貸付決定件数(件)／金額(円)内訳					
	平成24年度		平成23年度		平成22年度	
総合支援資金	5	3,152,279	7	11,113,623	38	70,239,597
生活支援費	4	1,490,000	7	6,060,000	38	30,710,000
住宅入居費	3	648,109	1	374,983	3	688,956
一時生活再建費	2	264,170	3	378,640	8	1,540,641
増額申請	2	750,000	6	4,300,000	46	37,300,000
緊急小口資金	79	6,560,000	101	7,910,000	113	9,520,000
臨時特例つなぎ資金	1	100,000	0	0	2	200,000
教育支援資金	21	39,085,400	17	30,436,400	32	48,005,080
教育支援費	20	30,962,200	15	24,506,400	32	38,873,880
就学支度費	19	8,123,200	13	5,930,000	19	9,131,200
福祉費	4	3,541,000	12	11,563,000	11	4,150,000
転宅費	1	218,000	6	2,173,000	5	1,627,000
障害者自動車購入費	0	0	1	1,000,000	0	0
療養費	2	3,012,000	0	0	4	1,983,000
福祉用具購入費	0	0	0	0	1	100,000
住宅改修費	0	0	1	1,100,000	0	0
小規模住宅改修	1	311,000	0	0	0	0
災害援護費	0	0	2	1,300,000	1	440,000
技能修得費	0	0	2	5,990,000	0	0
復興支援資金	0	0	2	2,250,000	0	0
合計	110	52,438,679	139	63,273,023	196	132,114,677

貸付関係相談件数

貸付関連相談件数 (延べ)	平成24年度	平成23年度	平成22年度
	2,460	997	1,518

(イ)生活福祉資金借受世帯援助記録票整備状況の調査

生活福祉資金借受世帯に対する民生委員による継続的援助活動の状況を把握すること、ならびに課題整理を行うことを目的として、8月～9月にかけて佐倉市民生委員・児童委員協議会と連携して実施した。

(ウ) 制度の周知・PR活動

本制度を幅広く周知すること及び活用促進を目的として、民生児童委員協議会での事業説明を実施した。

開催日	地区民児協名	会場	内容
8月 9日(木)	根 郷	南部地域福祉センター	生活福祉資金貸付と民生委員のかかわりについて
8月10日(金)	臼 井	臼井公民館	生活福祉資金貸付と民生委員のかかわりについて
1月 8日(火)	佐 倉	社会福祉センター	生活福祉資金貸付と民生委員のかかわりについて
1月12日(土)	志津北部	西部地域福祉センター	生活福祉資金貸付と民生委員のかかわりについて
3月 9日(土)	千代田	老人憩の家千代田荘	生活福祉資金貸付と民生委員のかかわりについて

(エ) 生活福祉資金債権管理強化推進事業

県社協の委託により、30万円を収入し、借受世帯の償還管理についてパソコンシステムの運用を行った。

カ 日常生活自立支援事業  
実施内容

今年度は引き続き、千葉県社会福祉協議会から委託を受けて、「さくら広域後見支援センター」を設置し、印旛健康福祉センター管内8市町村(成田市を除く)の高齢者や障がい者等の判断能力に不安のある方が、安心して地域で生活を送るために必要な福祉サービスの利用援助や、日常金銭管理等を契約により行うとともに、日常生活自立支援事業の普及を行った。また、相談内容に応じて成年後見制度の紹介も合わせて行った。

(ア) 契約件数 (平成24年3月31日現在)

年 度	24年度	23年度	22年度
契約者数	87	75	72
解約数	17	5	13
契約締結審査会承認数	31	11	21

(イ) 内容

市 町 村	利 用 者 数			生 活 支 援 員 数		
	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度
佐 倉 市	47	36	34	14	12	10
八 街 市	17	17	11	8	7	7
四 街 道 市	6	10	7	4	4	5
印 西 市	9	9	13	3	4	7
富 里 市	1	1	0	1	1	1
白 井 市	2	3	4	2	3	3
酒 々 井 町	5	3	3	3	3	3
合 計	87	79	72	35	34	36

市 町 村	福祉サービス利用援助			財 産 管 理			財 産 保 全		
佐 倉 市	47	36	34	45	35	30	6	7	6
八 街 市	17	17	11	17	17	11	0	2	1
四 街 道 市	6	9	7	6	9	7	2	2	2
印 西 市	9	9	13	8	7	12	2	1	1
富 里 市	1	1	0	1	1	0	0	0	0
白 井 市	2	3	4	2	3	4	1	1	1
酒 々 井 町	5	3	3	5	3	3	1	0	0
合 計	87	78	72	84	75	67	12	13	11

(ウ) 利用者状況

対象別	契約ケース			解約ケース		
	人 数			人 数		
	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度
高 齢 者	60	57	51	15	10	15
知的障がい	8	7	5	1	0	0
精神障がい	15	11	9	0	1	3
そ の 他	4	4	7	1	2	1
合 計	87	79	72	17	13	19

(支援回数)

回数別	人 数		
	24年度	23年度	22年度
月 1 回	41	46	40
月 2 回	35	21	22
週 1 回	3	7	2
そ の 他	8	5	8
合 計	87	79	72

(エ) 事業の広報・啓発

職員の講師派遣

主催団体	開催日	内容
佐倉市精神障害者 家族会かぶらぎ会	平成24年5月20日(日)	日常生活自立支援事業の実際について
佐倉市民生委員・ 児童委員協議会	平成24年5月23日(水)	日常生活自立支援事業および権利擁護事業について
いんば中核支援センター	平成25年3月11日(月)	成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用について

(オ) さくら広域後見支援センター現任生活支援員研修

日 時	6月19日(火)14時～15時30分
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員22名
内 容	グループワーク「日常生活自立支援事業の在り方を考える」

(カ) さくら広域後見支援センター現任生活支援員・管内市町村社会福祉協議会担当者連絡会議

日 時	2月5日(火)14時～16時
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員24名 各市町村社協職員9名 印西市社協局長 八街市社協局長
内 容	平成25年度管内全社協事業実施にむけた移管について

(キ) 千葉県後見支援センター現任生活支援員研修会

日 時	1月10日(木)・1月18日(金)
場 所	千葉県社会福祉センター・千葉県経営者会館
出 席 者	1月10日(木)生活支援員 9名 1月18日(金)生活支援員 7名
内 容	多様化するケースの対象者理解を深め、対人援助・支援を行う実践力を身につける



(ク) 契約締結審査会

回数	開催日時	審査	評価	解約
第146回	4月17日(火)	1件	9件	1件
第147回	5月22日(火)	4件	9件	3件
第148回	6月26日(火)	2件	9件	1件
第149回	7月17日(火)	4件	6件	1件
第150回	8月21日(火)	5件	8件	0件
第151回	9月18日(火)	2件	4件	1件
第152回	10月16日(火)	1件	4件	1件
第153回	11月20日(火)	4件	7件	1件
第154回	12月18日(火)	2件	5件	3件
第155回	1月22日(火)	1件	4件	1件
第156回	2月19日(火)	1件	8件	1件
第157回	3月19日(火)	4件	5件	3件
合計		31件	78件	17件

キ 佐倉市ひとり親家庭等日常生活支援事業

ひとり親家庭等の世帯への訪問介護員(家庭生活支援員)を派遣し、子どもの保育や家事などの生活支援を行う佐倉市ひとり親家庭等日常生活支援事業については、他業者との価格競争の結果、本年度は佐倉市から事業委託できなかった。

ク 佐倉市難病患者等ホームヘルプサービス事業

難病患者等の福祉の増進を図るため、訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、日常生活を営む上で必要な援助を行う予定であったが、利用者はなかった。

・活動実績

月	利用者数(人)	活動回数(回)	活動時間数
4月～3月	0	0	0時間 0分

(6) 善意銀行  
実施内容

社会福祉の増進を図ることを目的とし、広く人々の善意を金銭及び物品として受け、これを効果的に還元した。小口貸付資金は、生活保護世帯あるいはそれに準ずる低所得世帯が、一時的な事由により生活費に困窮した際に本資金の貸付により急迫する生活上の困難を切り抜けるための費用として無利子で貸付を行うものである。相談内容も従来に比べると多様化しており、ケースごとにきめ細かく柔軟に対応している。償還管理の円滑化を図るため、ケースのデータベース化を図り活用している。償還が遅れがちな借受人については、民生委員などとも連携して、電話連絡等により世帯の状況把握や償還指導を行い、生活上の課題把握と解決に努めた。また、「フードバンクちば」との連携により、地域の生活困窮者の支援に取り組んだ。

ア 金銭、物品の預託、払い出し

(ア) 金銭口座

預託

種別	24年度		23年度		22年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般預託	13	382,019	19	703,567	29	1,371,820
指定預託	10	767,068	9	402,230	9	254,310
合計	23	1,149,087	28	1,105,797	38	1,626,130

払出

払出	24年度		23年度		22年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
災害見舞	48	520,000	193	2,210,000	27	475,000
帰宅旅費	30	14,360	42	19,940	49	25,080
指定払出	10	767,068	10	437,240	9	254,310
合計	88	1,301,428	245	2,667,180	85	754,390

(イ) 物品口座

物品名	預託件数(件)			払出件数(件)		
	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度
衣料品	17	2	2	18	5	5
食品	13	3	1	92	3	15
福祉機器	19	8	11	35	18	16
介護用品	51	59	34	102	121	124
日用品等	20	18	19	59	41	35
合計	120	90	67	306	188	195

イ 小口貸付事業

貸付件数

世帯種別	24年度		23年度		22年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活保護世帯	58	2,040,000	73	2,800,000	78	3,330,000
生活保護申請世帯	19	230,000	32	510,000	37	1,790,000
一般世帯	31	1,370,000	43	1,785,000	109	4,085,000
合計	108	3,640,000	148	5,095,000	224	9,205,000

償還額

償還額(円)	24年度	23年度	22年度
		3,848,000	5,778,000

(7)基金  
実施内容

自主財源の確保を目的として、福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により、資金造成を行った。運用に関しては、定期預金は期間を1年と5年に分散しての預入れ、債券は10年、5年の国公債を保有し、各事業実施のため福祉基金から生ずる利息の確保に努めた。菊地久治勉学奨励基金については、奨学福祉事業費に充てるため、取り崩した。

ア 福祉基金 (平成25年3月31日現在)

総積立額	242,757,535円	
平成24年度寄附金額	557,260円	
配分額	1,216,295円	
内 訳	法人運営	834,000円
	ボランティア活動促進	382,295円

イ 菊地久治勉学奨励基金 (平成25年3月31日現在)

基金総積立額	72,188,121円	
勉学奨励金配分額	6,650,325円	
内 訳	勉学奨励奨学金として	5,950,325円
	勉学奨励一時金として	700,000円

## (8)在宅福祉事業

## 実施内容

虚弱で家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

## ア ふれあい・いきいきサロン

No	グループ名	24年度		23年度		22年度	
		実施回数	延利用者数	実施回数	延利用者数	実施回数	延利用者数
1	ミニデイサロンうすい	49回	294人	50回	312人	49回	315人
2	いきいきサロン白銀	22回	110人	20回	97人	13回	97人
3	いきいきサロンなごみの会	12回	239人	12回	202人	10回	146人
4	いきいきサロン王子台	12回	115人	12回	120人	11回	160人
合 計		95回	758人	94回	731人	83回	718人

## イ ふれあい型食事サービス

No	グループ名	実施日	24年度	23年度	22年度
			対象者数(配食数)	対象者数(配食数)	対象者数(配食数)
1	ふきのとう	毎月第1金曜日	602人	604人	601人
2	むぎの会	毎月第2火曜日	477人	409人	346人
3	楡の会	毎月第3火曜日	589人	707人	623人
4	虹の会	毎月第2金曜日	466人	441人	382人
5	井野西ボランティアグループ	毎月第4火曜日	203人	228人	218人
6	チューリップの会	毎月第3金曜日	276人	334人	332人
7	井野町銀鈴会	毎月第2月曜日	497人	472人	488人
8	すおうの輪	毎月第3火曜日	180人	171人	153人
9	ユーカリ和の会	毎月第4火曜日	307人	321人	280人
10	とまとの会	毎月第3木曜日	176人	228人	188人
11	やまぶき	平成23年4月15日	7人		
合 計			3,773人	3,922人	3,611人

## ウ おもちゃ図書館

## 実施内容

おもちゃを通じた障がい児と健常児のふれあいの場及び子育て支援の場、そして、障がいをもった子どもたちがおもちゃで遊びながら、楽しみながら体の機能や感覚、ことばを養い、成長を促すことを目的としておもちゃ図書館を開館し、おもちゃの貸し出しを行った。

## 開館状況

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館回数	12回	12回	12回	12回	48回
利用者数	715人	338人	304人	617人	1,974人
障がい児数	1人	3人	2人	126人	132人
貸出点数	263点	110点	110点	142点	625点
ボランティア数	61人	39人	35人	46人	181人
修理ボランティア数	21人	9人	21人	12人	63人

会議・研修の参加 8回 27人

移動おもちゃ図書館 12回 21人

エ 車椅子貸出事業  
実 施 内 容

市内在住の高齢者・傷病者などが通院といった日常生活上での外出時に車椅子を貸出することにより生活の側面的支援に繋げることを目的として実施した。また、学校での総合学習や福祉教育などの教材としても利用し、外出支援や福祉教育の教材利用として広く貸出を行ったほか、市内20カ所の郵便局と「車椅子貸出業務に関する覚書」を締結し、本会所有の車椅子を1カ所につき1台を配置することにより、利用者がより使用しやすいよう利便性の向上にも努めた。

対象別利用件数

対 象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
個 人	26	19	12	11	11	7	86
学校・行政	0	0	2	0	1	0	3
福祉団体・施設	2	0	0	0	0	0	2
行事等	0	0	0	0	0	6	6
合 計	28	19	14	11	12	13	97

対 象	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
個 人	11	2	5	5	3	7	33	119
学校・行政	0	1	0	0	1	2	4	7
福祉団体・施設	0	0	0	0	0	0	0	2
行事等	2	1	0	0	0	0	3	9
郵便局扱い	9	4	6	9	3	10	41	41
合 計	22	8	11	14	7	19	81	178

年度別貸出台数

対 象	24年度	23年度	22年度
個 人	119	101	88
学校・行政	7	14	10
福祉団体・施設	2	5	5
行事等	9	2	6
郵便局扱い	41	0	0
合 計	178	122	109

※10月から市内各郵便局へ貸出用車椅子を設置した。

オ 菊地久治奨学福祉事業

(ア) 勉学奨励奨学金

実施内容

佐倉市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学生の募集を行った。

6月に募集した大学進学者向け奨学生では選考を重ねた結果、2名が奨学生となった。また、10月に募集した大学在学者向け奨学生では、選考を重ねた結果、2名が奨学生となり、24年度奨学生として4名が奨学生と決定した。

8月には夏季研修を国内外の2種類に分けて実施し、国内研修では、佐倉市内の福祉施設で障がいについて学ぶ研修を行い、国外研修では、菊地久治勉学奨励金と同寄附者の寄附により設立した奨学金制度を持つ、韓国にある家庭福祉会の奨学生と日本の奨学生による相互交流を通じて、交友関係を構築し、将来に向けた自己意識の形成を図る研修を行った。

12月の冬季研修では、高齢者施設での作業活動やボランティア活動に対する意見交換等を行った。

勉学奨励奨学金 交付件数・金額(内訳)

年度	大学進学者	大学在年生	合計	交付額
平成24年度	2	7	9	5,950,325円
平成23年度	3	4	7	2,757,345円
平成22年度	1	1	2	1,462,300円

(イ) 勉学奨励一時金

実施内容

生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して、入学時に勉学奨励一時金を交付した。

勉学奨励一時金 交付件数・金額(内訳)

年度	高等学校	専門学校	短期大学	大学	その他	合計	交付額
平成24年度	8	7	3	6	0	24名	700,000円
平成23年度	4	4	0	4	0	12名	360,000円
平成22年度	3	8	0	8	0	19名	600,000円

a 広報PR・募集活動

大学進学希望者	5月1日	社協さくら168号掲載
	6月11日～	高等学校37校への広報PR活動(郵送)
	6月1日～29日	募集期間(ホームページに掲載)
大学在学者	10月1日～	社協さくら170号掲載
	10月1日～31日	募集期間(ホームページに掲載)
	10月9日～19日	民生委員・児童委員協議会各地区定例会にて周知

b 奨学生選考委員会

(a) 大学進学希望者

回数	開催日	会場	出席者数	内容
第1回	7月17日(火) 午前10時～11時30分	2階会議室	委員5名 職員2名	・第一次選考(書類審査):3名 ・菊地久治勉学奨励金事業実施要項改正 ・夏季研修について
第2回	8月7日(火) 午前10時～11時30分	地下研修室	委員5名 職員2名	・第二次選考(小論文・面接審査):2名
答申	8月10日(金)	会長室	委員1名 職員1名	・2名が奨学生として内定

## (b) 大学在学者

回数	開催日	会場	出席者数	内容
第1回	11月6日(火) 午前10時～11時30分	2階会議室	委員5名 職員2名	・第一次選考(書類審査):2名 ・前期成績・状況報告面接の進捗状況
第2回	11月24日(土) 午前10時～11時30分	2階会議室	委員5名 職員2名	・第二次選考(面接・小論文審査):2名
答申	11月29日(木) 午後4時45分～5時	会長室	委員1名 職員1名	・2名が奨学生として決定

## (c) 奨学生への支援

- ・毎月1回奨学生と連絡を取り、生活面、家庭面、学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い、奨学生への支援を行った。

## c 研修

## (a) 夏期研修

- ・国内研修 (3名)

日付	時間	内容
8月22日(水)	午前10時～午後4時	・社会福祉法人愛光について ・障害者支援施設の見学 ・班に分かれて作業に参加
8月23日(木)	午前10時～午後4時	・視覚障害について ・アイマスクと車いす体験 ・班に分かれて作業に参加 ・利用者とのふれあい交流
8月24日(金)	午前10時～午後4時	・佐倉市さくらぼ園について ・障がいをもった子ども達との接し方について ・クラスに分かれて施設体験 ・夏季保育に参加

## (b) 冬期研修

日付	時間	会場	内容
12月22日(土)	午前8時30分～午後3時	①佐倉白翠園(午前) ②社会福祉センター(午後)	・高齢者施設での作業活動 ・羊の会との交流 ・ボランティア活動についての意見交換

## (c) 国外研修 (4名)

日付	時間	内容
8月20日(月)	午前8時～午後5時	・韓国へ入国・韓国を視察・翌日の発表練習
8月21日(火)	午前8時～午後9時	・韓国奨学生の授与式に参加 ・日韓奨学生研修(Tシャツで自分を表現、グループミッションを遂行) ・日韓奨学生活動報告・韓国文化体験
8月22日(水)	午前8時～午後5時	・韓国慶州文化体験・博物館にて韓国の歴史に触れる ・感謝の気持ちを込めてお互いの想いを表現
8月23日(木)	午前8時～午後5時	・日本へ帰国

## d 生活状況報告会

## (a) 前期生活状況報告会

日付	時間	内容
10月27日(土)	午前10時30分～ 午後0時30分	・奨学生4名と前期学業成績・生活状況について面談を実施
11月24日(土)	午前8時～10時	・奨学生3名と前期学業成績・生活状況について面談を実施

(b)後期生活状況報告会

日付	時間	内容
3月19日(火)	午前9時～正午	・奨学生7名と学業成績・生活状況について面談を実施 ・次年度の奨学金支給についての説明 ・今後の予定(年間スケジュール等の確認)

e 認定授与式

日付	時間	内容
3月19日(火)	午後1時～2時	・平成24年度菊地久治勉学奨励金認定証書交付(4名) ・奨学生説明会



カ 法人後見事業  
実施内容

認知症や障がい等で判断能力の低下した者が、安心・安全な生活を送れるように成年後見制度を活用した法人後見事業を通じて本人の権利を擁護する。

(ア) 制度に関する広報、啓発  
職員の講師派遣

主催団体	開催日	内容
志津北部地区の民生・児童委員	5月12日	成年後見制度全般(特に基本的事項)について
佐倉地区の民生・児童委員	6月12日	成年後見制度全般(特に基本的事項)について
四街道視覚障害者協会	11月18日	成年後見制度の概要
いんば中核支援センター	3月11日	成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用について

(イ) 成年後見制度に関する相談

相談者	件数
親	2
子	3
本人	3
親族	8
中核地域生活支援センター	2
その他	2
合計	20

(ウ) 法人後見事業受任可否会議

対象者	申立類型	開催日	審査結果
知的障害・男性 50歳	保佐	7月26日(木)	可
精神障害・女性 49歳	後見	12月4日(月)	可
高齢者・女性 89歳	後見	3月1日(金)	可

(エ) 法人後見事業受任件数

被後見人	後見類型	裁判の確定日
知的障害・男性 50歳	保佐	11月13日
精神障害・女性 49歳	後見	12月8日
高齢者・女性 89歳	後見	3月23日

(オ) (仮称)成年後見支援センターについての検討  
会議

開催日	内容
6月 1日(金)	(仮称)成年後見支援センターの業務内容について
6月25日(月)	地域包括支援センターのヒヤリング結果について (仮称)成年後見支援センターの業務内容について 成年後見制度の申立の支援の内容について 他市の市民後見人養成講座の実施状況について
7月 5日(木)	市民後見人養成講座の対象者と修了者のフォローについて
1月22日(火)	(仮称)成年後見支援センター開始に向けた最終確認

視察研修

12月18日～19日	東京都品川区社会福祉協議会 派遣職員2名
------------	----------------------

## キ 訪問介護員養成研修事業

### 実施内容

地域住民、福祉団体協力のもと、高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスが利用できる地域福祉の増進を図り、もって福祉社会を担う人づくりを推進し、高齢者を支援するための人材育成に努めていくことを目的として、訪問介護員養成研修を実施した。

#### (ア) 研修課程および方法

訪問介護員養成研修(ホームヘルパー)2級課程(全員)〈通学〉

障害者(児)居宅介護従事者養成研修2級課程(希望者のみ20名)〈通学〉

#### (イ) 対象

佐倉市在住または在勤で、訪問介護員又は障害者(児)居宅介護従事者として働く意欲を持つ心身共に健康な者。

#### (ウ) 募集期間及び研修実施期間、時間数

##### ・募集期間

8月31日(金)～9月19日(水)

##### ・研修実施期間、時間数

10月16日(火)～2月6日(水)

130時間または、138時間(居宅介護従事者養成研修を同時受講の場合)

#### (エ) 定員及び受講人数

・定員:40名(受講は書類選考による)

・受講人数:16名(男性3名、女性13名)

#### (オ) 研修参加費

50,000円(受講料、テキスト代、実習費等)

#### (カ) 広報PR・募集活動

7月1日発行 「社協さくら」169号掲載

8月31日～9月30日 郵便局への広報PR活動

8月31日～9月30日 本会ホームページに掲載)

## (9) 共同募金配分事業

## ア 歳末たすけあい運動

実施内容	
<p>歳末期に経済的に支援が必要な世帯が明るい正月を迎えられよう、千葉県共同募金会から配分を受けて在宅生活者へ支援金を贈るとともに、民間社会福祉施設への歳末行事への支援も行うために、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」及び「民生委員児童委員協議会会長会議」で検討・協議を経て、提言に基づき今年度の配分を実施した。歳末配分対象者の確認を民生委員・児童委員協議会の協力のもと依頼・実施し、在宅支援金の配分を行った。また、民間社会福祉施設等に歳末行事への支援も実施した。</p>	

## (ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

回数	開催日	会場	内容
第1回	7月3日 (火)	2階会議室	<p>・平成24年度歳末たすけあい募金配分内容について 配分内容については、概ね3年間と同水準での配分を実施するという方針のもと、特段見直すべき理由も無いことから、平成23年度の配分方法で実施することを提案、協議し承認された。</p> <p>出席委員：7名</p>

## (イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

	民生委員・児童委員協議会	
	会長会議	単位地区定例会
8月度	<p>①歳末たすけあい募金配分内容検討委員会での協議内容の報告 ②今年度の配分内容についての協議</p>	歳末たすけあい運動の目的・考え方・概要の説明
9月度	・歳末たすけあい運動配分対象者の確認(調査)依頼	
10月度	・歳末たすけあい運動配分対象者の確認(調査)台帳回収	
11月度	・歳末たすけあい運動配分 支援金対象者「確認表」の配布	
12月度	・歳末たすけあい運動「在宅支援金」の交付と「配分対象者受領簿」の配布	
1月度	・歳末たすけあい運動在宅支援金「配分対象者受領簿」回収と戻入金受付について	
2月度	・歳末たすけあい運動配分事業報告について	

## (ウ) 在宅支援金の配分実績

区分	単価 (円)	対象世帯数	金額(円)	24年度		23年度		22年度	
				対象世帯数	金額(円)	対象世帯数	金額(円)	対象世帯数	金額(円)
要保護世帯	一般低所得世帯	単身	10,000	9	90,000	15	150,000	24	240,000
		家族あり	12,000	117	1,404,000	98	1,176,000	85	1,020,000
	母子・父子世帯	子1人	12,000	141	1,692,000	140	1,680,000	125	1,500,000
		子2人以上	14,000	213	2,982,000	188	2,632,000	192	2,688,000
	ひとり暮らし高齢者世帯	10,000	251	2,510,000	244	2,440,000	234	2,340,000	
	ねたきり高齢者世帯	単身	10,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	12,000	8	96,000	10	120,000	13	156,000
	心身障がい児・者世帯	単身	10,000	10	100,000	9	90,000	10	100,000
		家族あり	12,000	37	444,000	39	468,000	42	504,000
	罹災世帯	単身	10,000	0	0	5	50,000	0	0
家族あり		12,000	0	0	18	216,000	1	12,000	
合計				786	9,318,000	766	9,022,000	726	8,560,000

(エ) 民間社会福祉施設等支援事業

サービス内容	内 訳	金 額
民間社会福祉施設等支援	35,000円×28ヶ所	980,000円

(オ) 配分合計

在 宅 支 援 金	786世帯	9,318,000円
民間社会福祉施設等支援事業	28施設	980,000円
事 務 費		241,237円
配 分 合 計	814件	10,539,237円

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	12,360,000円
歳末たすけあい募金実績額	11,416,176円

(キ) 次年度への繰越金

平成23年度末繰越金	6,892,957円
平成24年度繰越額(募金実績－配分実績)	876,939円
平成24年度末繰越金総額	7,769,896円

(10) 共同募金事業への協力

実施内容

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行った。募金方法は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、駅頭や大型店舗等において、ボランティアグループ及び個人・地区社協・学校等の協力による街頭募金、他法人・学校・職域・イベント等での募金活動を実施した。引き続き、東日本大震災での千葉県共同募金会佐倉市支会の義援金募金活動に協力している。また、東日本大震災以外にも、災害義援金募金活動に協力している。

ア 赤い羽根募金

募金実績額 18,580,022円

イ 歳末たすけあい募金

募金実績額 11,416,176円

ウ 災害義援金

東日本大震災義援金(4月1日から3月31日まで)709,872円  
茨城県竜巻災害義援金(5月8日から7月31日)2,797円  
栃木県竜巻災害義援金(5月11日から7月31日)2,554円  
平成24年7月大分県大雨災害義援金(7月6日から8月31日)5,587円  
H24.7.12熊本広域大水害義援金(7月13日から9月30日)3,711円  
平成24年7月福岡県豪雨災害義援金(7月20日から8月31日)3,543円  
平成24年8月京都府南部豪雨災害義援金(8月20日から10月31日)5,970円

エ 資材発送

地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根などの資材を発送に協力した。9月13日(木)ゆうパックにて発送した。

オ 赤い羽根共同募金説明会

平成24年度赤い羽根共同募金の説明会を開催に協力し、直接協力を呼びかけた。佐倉市オリジナルDVDを上映し、資料説明だけでなく、映像での具体的な活動がわかるような内容とした。

9月22日(祝・土) 午前 臼井公民館 視聴覚室  
午後 西部地域福祉センター 2F会議室  
9月23日(日) 午前 社会福祉センター地下研修室  
午後 和田ふるさと館 ホール

カ 共同募金葉づくり

作業を通じて共同募金をより理解していただくことを目的に、また、街頭募金の際に啓発活動として配布することを目的に「葉づくり」を行った。  
8月 3日(金) 西部地域福祉センター 360枚  
8月24日(金) 社会福祉センター3F大会議室 204枚  
10月18日(木) 地下研修室 3日間の参加者数 延べ45人  
その他、ボランティアの協力で450枚を超える枚数が作成されている。

キ 佐倉市オリジナル回覧作成

共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのか、流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を作成し、自治会・町内会等へ配布した。

作成数 5,000枚

ク 佐倉市オリジナルDVD

地区代表者からの要望を受けて、赤い羽根共同募金が佐倉市内でどのように使われているか、地区社協活動や配食ボランティアなどの様子を、映像でわかりやすく周知できるようなDVDを作成していたものを、赤い羽根共同募金の運動資材と共に同封し、自治会や企業等に配布した。

(11) 福祉総合相談事業

実施内容

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、積極的に相談に応じ、それぞれの問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力を行った。また、相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに専門相談窓口開設により、よりきめ細かな対応を行った。

ア 設置状況

相談内容	開設場所	開設日	開設時間
心配ごと相談	佐倉	社会福祉センター	毎週月曜日
	志津	西部地域福祉センター	毎週水曜日
	根郷	南部地域福祉センター	毎週金曜日
法律相談	社会福祉センター	毎月第4月曜日	10:00～15:00
介護生活相談	社会福祉センター	毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
ボランティア相談	社会福祉センター	毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター	毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

イ 福祉総合相談所相談状況

相談名	相談件数			相談内容件数		
	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度
心配ごと相談(佐倉)	60	100	88	67	106	95
〃(志津)	51	57	77	57	67	85
〃(根郷)	32	60	57	34	62	63
法律相談	57	81	89	87	94	94
介護生活相談	21	18	17	21	18	17
ボランティア相談	235	279	443	235	279	443
合計	456	595	771	501	626	797

ウ 内容件数内訳(心配ごと相談・法律相談)

相談事項		心配ごと									法律			合計		
		佐倉			志津			根郷			佐倉					
		24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度	24年度	23年度	22年度
1	年金	1	1	4	1	0	5	0	0	1	0	1	0	2	2	10
2	生計	11	6	9	3	1	5	3	5	9	6	2	8	23	14	31
3	職業・生業	4	3	4	1	0	2	0	4	1	1	1	0	6	38	7
4	住宅	1	6	6	2	2	6	3	0	1	2	9	3	8	17	16
5	家族	12	22	21	20	23	16	8	26	21	8	2	7	48	73	65
6	DV問題	0	0	2	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	6
7	結婚	0	1	1	1	1	0	1	3	1	0	0	0	2	5	2
8	離婚	4	4	5	5	4	10	2	6	6	2	14	14	13	28	35
9	健康・衛生	0	0	3	4	8	4	0	0	0	0	0	0	4	8	7
10	医療	0	3	3	0	2	4	0	0	1	4	1	1	4	6	9
11	精神保健福祉	3	7	4	3	4	7	2	3	1	1	0	1	9	14	13
12	人権・法律	3	10	5	0	2	4	3	1	4	28	25	18	34	38	31
13	財産	7	10	10	7	4	9	2	3	3	33	32	35	49	49	57
14	事故	0	1	0	0	2	1	1	0	0	2	4	4	3	7	5
15	児童・母子保健	1	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2	1	4
16	教育・青少年	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3
17	心身障がい者福祉	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
18	母子・父子福祉	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1
19	高齢者福祉	2	0	1	1	1	2	2	2	0	0	2	0	5	5	3
20	苦情	1	2	0	2	0	1	0	3	2	0	1	0	3	6	3
21	ボランティア	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1
22	近隣	7	5	4	1	2	2	1	6	1	0	0	1	9	13	8
23	その他	7	11	11	3	7	5	5	0	3	0	0	1	15	18	20
	合計	67	96	95	57	67	85	34	62	63	87	94	94	245	349	337

エ 会議及び研修

(ア) 心配ごと相談員研修

6月28日(木)午後1時30分～午後3時	
場 所	社会福祉センター地下研修室
内 容	講義「家庭裁判所の関わる離婚問題を中心とした家族関係について」 参加者 14名

(イ) 第1回市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

7月26日(木)午前10時～午前11時30分	
場 所	ミレニアムセンター佐倉4階 第3・4会議室
内 容	講義「だまされない!金融トラブル」参加者 13名

(ウ) 第2回市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

2月5日(火)午後1時30分～午後3時	
場 所	ミレニアムセンター佐倉4階 第3・4会議室
内 容	講義「地域包括支援センターの役割」参加者 10名

(エ) 心配ごと相談員研修

2月26日(火)午前10時～午前11時30分	
場 所	社会福祉センター地下研修室
内 容	講義「心配ごと相談における虐待対応について」参加者 13名

## (12) 居宅介護

## ア 障がい者自立支援事業

障害者自立支援法に基づき、身体障がい者、知的障がい者(児)、精神障がい者の家庭にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績(地域生活支援事業、生活サポート事業を含む)

左:平成23年度 右:平成24年度

月	利用者数(人)		活動回数(回)		活動時間数	
	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
4月	77	72	636	456	892:10:00	732:12:00
5月	75	72	638	527	935:10:00	778:26:00
6月	75	75	654	520	955:35:00	750:06:00
7月	79	70	548	544	831:30:00	807:01:00
8月	67	64	520	497	755:40:00	711:40:00
9月	75	66	546	483	803:25:00	683:52:00
10月	71	70	535	560	840:35:00	830:42:00
11月	69	72	553	521	858:40:00	712:39:00
12月	74	70	549	481	817:40:00	692:09:00
1月	74	68	474	475	733:58:00	645:38:00
2月	72	70	514	497	762:24:00	678:37:00
3月	79	74	496	579	809:09:00	790:24:00
合計	887	843	6,663	6,140	9995:56:00	8813:26:00
月平均	74	70	555	512	832:59:00	734:27:10

月平均比較

年度	利用者(人)	活動回数(回)	活動時間数
24	70	512	734時間 27分
23	74	555	832時間 59分
22	70	586	872時間 42分

## イ 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

活動実績

左:平成23年度 右:平成24年度

月	利用者数(人)		活動回数(回)		活動時間数	
	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
4月	7	6	20	10	26:10:00	14:23:00
5月	7	4	28	8	31:45:00	9:52:00
6月	6	8	21	8	21:20:00	21:53:00
7月	8	7	28	17	30:30:00	19:01:00
8月	6	7	27	17	32:00:00	21:19:00
9月	8	7	29	13	33:20:00	14:47:00
10月	8	7	25	14	32:00:00	17:36:00
11月	6	10	17	18	28:40:00	19:41:00
12月	7	8	18	16	22:35:00	23:21:00
1月	8	8	18	15	20:14:00	16:09:00
2月	8	6	11	7	14:06:00	13:36:00
3月	7	9	11	17	19:49:00	17:46:00
合計	86	87	253	160	312:29:00	185:09:00
月平均	7	7	21	13	26:02:25	15:25:45

月平均比較

年度	利用者(人)	活動回数(回)	活動時間数
24	7	13	15:25:00
23	7	21	26:02:00
22	6	24	29:17:00



## 2 公益事業

### (1) 介護保険

#### ア 訪問介護事業

介護保険制度に基づく訪問介護事業を適正に実施するとともに、質の高い介護サービスを提供するため人材育成等を行った。

#### (ア) 訪問介護活動実績

左:平成23年度 右:平成24年度

月	利用者数(人)		活動回数(回)		活動時間数	
	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
4月	49	46	677	685	845時間04分	755時間51分
5月	47	43	649	609	830時間32分	705時間26分
6月	50	44	721	614	905時間30分	682時間52分
7月	51	39	817	577	906時間30分	658時間33分
8月	53	37	828	526	907時間30分	593時間34分
9月	51	37	778	538	958時間50分	587時間48分
10月	48	37	762	547	928時間10分	608時間36分
11月	52	40	832	539	983時間35分	603時間38分
12月	53	39	725	474	854時間45分	554時間34分
1月	51	36	647	412	754時間30分	485時間25分
2月	46	43	638	407	736時間00分	476時間53分
3月	45	33	678	438	774時間16分	517時間07分
合計	596	474	8,752	6,366	10385時間12分	7230時間17分
月平均	49.7	39.5	729.3	530.5	865時間26分	602時間31分

#### 月平均比較

年度	利用者(人)	活動回数(回)	活動時間数
24	40	530	602時間31分
23	50	729	865時間26分
22	52	664	863時間36分

#### (イ) 予防訪問介護活動実績

左:平成23年度 右:平成24年度

月	利用者数(人)		活動回数(回)		活動時間数	
	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
4月	43	39	226	240	294時間40分	235時間01分
5月	41	40	221	255	289時間50分	247時間46分
6月	41	39	223	246	288時間00分	241時間09分
7月	42	43	222	252	291時間30分	246時間05分
8月	40	41	225	262	298時間50分	253時間49分
9月	40	41	221	224	288時間20分	215時間21分
10月	40	41	227	261	297時間45分	254時間04分
11月	39	38	230	229	299時間30分	219時間13分
12月	40	37	218	225	280時間22分	216時間25分
1月	39	38	214	218	273時間26分	210時間47分
2月	40	38	232	221	294時間57分	212時間51分
3月	41	37	246	228	314時間02分	218時間52分
合計	486	472	2,705	2,861	3511時間12分	2771時間23分
月平均	41	39	225	238	292時間36分	230時間56分

#### 月平均比較

年度	利用者(人)	活動回数(回)	活動時間数
24	39	238	230時間56分
23	41	225	292時間36分
22	40	221	290時間46分

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	利用者数(名)		
	平成25年3月	平成24年3月	平成23年3月
要支援1	12	11	13
要支援2	29	29	24
要介護1	9	16	21
要介護2	14	17	19
要介護3	3	3	9
要介護4	9	10	6
要介護5	2	5	4
合計	78	91	96

(ウ) 訪問介護員(ホームヘルパー、ガイドヘルパー)関係

a 訪問介護員登録人数 3月31日在籍者数

平成22年度	59名(内、ガイド9名)
平成23年度	53名(内、ガイド8名)
平成24年度	51名(内、ガイド7名)

b 平成24年度訪問介護員会議・研修 (名)

会議・研修	開催日	内 容	参加者
全体会	4月15日	平成24年度事業、雇入通知交付他	40
研修会	5月17日	介護福祉士資格試験対策講座	1
	5月26日	大規模災害時のヘルパーの行動について	30
必修全体研修	6月17日	「利用者との関わり方を学ぶ」講師:吉田由加里先生(介護労働安定センター)	41
	7月18日	障がい福祉サービスについて	16
	8月25日	地区ケース検討会	25
	9月11日	「虐待につて」講師:岡本一成(社協)	15
	10月16日	ガイドヘルパーフォローアップ研修	6
	10月19日	認知症について	16
	11月10日	障がい者のサービス利用について	18
	12月14日	調理について	18
	1月20日	身体介護について	37
	2月23日	健康教室	26
	3月13日	事例検討	19
ケース検討会	5月26日	地区ごとに分かれて大規模災害時のケース検討	45
	8月25日	地区ごとに分かれてケース検討	25
	11月10日	地区ごとに分かれてケース検討	18
	2月23日	地区ごとに分かれてケース検討	26
合計			422

- ・平成24年度: 全体会、研修会14回 地区ケース検討会4回  
のべ参加者数 422名  
※平成24年度 同行援護従事者研修 平成25年3月2、3日 25名終了
- ・平成23年度: 全体会、研修会13回 地区ケース検討会3回  
のべ参加者数 476名

## c 訪問介護サービス 事故報告

(件)

No.	事故の内容	平成24年度	平成23年度	平成22年度
1	訪問遅れ	10	6	10
2	訪問忘れ	4	9	7
3	車等の事故	1(詳細1)	2	1
4	利用者の怪我	1(詳細2)	1	1
5	訪問介護員の怪我	1(詳細3)	1	0
6	派遣調整の誤り	3	2	3
7	物損	3	7	2
8	その他	2(詳細4)	—	—
	合計	25	28	24

## 〈平成24年度事故の詳細〉

## 1. 車等の事故

利用者宅にて車庫入れ時門扉に接触し門扉が一部曲がった

## 2. 利用者の怪我

爪切り時皮膚を傷つけ出血

## 3. 訪問介護員の怪我

側溝に脱輪した車両を持ち上げようとして圧迫骨折し、加療  
在宅サービス保証保険および労働者災害保険にて保証

## 4. その他

ガス火の消し忘れ、資格証の紛失

イ 居宅介護支援事業

介護保険制度に基づく居宅介護支援事業を法令及び契約に基づき適正に実施した。

居宅介護支援事業活動実績  
(人)

月	24年度	23年度	22年度
4月	71	79	81
5月	69	76	76
6月	66	80	75
7月	69	78	76
8月	68	78	75
9月	67	77	78
10月	69	74	77
11月	71	77	74
12月	72	75	72
1月	67	77	74
2月	74	74	75
3月	70	73	77
合計	833	918	910
月平均	69.4	76.5	75.8

介護予防支援業務活動実績(受託業務 平成24年度単価4,206円/人・月)

(人)

月	24年度	23年度	22年度
4月	17	17	21
5月	18	17	21
6月	18	15	21
7月	19	15	20
8月	19	17	17
9月	21	17	17
10月	19	17	17
11月	20	16	17
12月	20	16	17
1月	19	16	16
2月	21	17	15
3月	19	17	17
合計	230	197	216
月平均	19.2	16.4	18

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	24年度3月末	23年度3月末	22年度3月末
要支援1	6	4	9
要支援2	13	13	8
要介護1	24	22	18
要介護2	21	20	22
要介護3	10	12	18
要介護4	10	12	12
要介護5	5	7	6
合計	89	90	93

要介護・要支援認定調査業務活動実績(受託業務 平成24年度単価4,500円/件)  
(件)

月	24年度	23年度	22年度
4月	4	6	5
5月	6	6	7
6月	10	6	6
7月	11	6	6
8月	5	6	6
9月	10	6	6
10月	5	6	6
11月	3	6	5
12月	5	6	3
1月	5	6	5
2月	5	6	7
3月	7	6	6
合 計	76	72	68
月平均	6.3	6	5.6

(2) 指定管理事業

ア 西部・南部地域福祉センター管理運営

実施内容

佐倉市から公共施設の指定管理者として指定を受けた、西部地域福祉センター(指定期間:平成21年度から平成25年度まで)及び南部地域福祉センター(指定期間:平成24年度)について、法令等に基づき適正かつ円滑な管理運営に努めた。

西部及び南部地域福祉センターにおいては、地域住民が地域福祉活動を推進する施設として、その場と機会を提供するとともに、それぞれの地域における福祉活動の拠点として地区社協の事務局、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保し、地域福祉の増進に努めた。

西部地域福祉センターについては、浴室利用者は微減傾向にあるため、60歳以上の方が低料金で快適に利用できる点をホームページ等を活用して周知した。会議室及び研修室の利用は増加した。

南部地域福祉センターについては、利用者数が減少した。

(ア) 西部地域福祉センター

人員配置:センター長1人、業務主任担当者1人、管理員6人

室名	24年度		23年度		22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	1,046	17,122	661	15,233	728	17,108
研修室	632	20,511	551	16,835	553	17,828
娯楽室		15,153		15,874		14,648
和室		497		632		710
(男)		8,063		8,074		8,680
浴室(女)		4,016		4,288		4,550
(計)		12,079		12,362		13,230

(イ) 南部地域福祉センター

人員配置:センター長1人、業務主任担当者1人、管理員3人

室名	24年度		23年度		22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
研修室	759	9,986	750	10,765	507	10,818
和室	164	1,959	212	2,347	243	2,900

イ 市民公益活動サポートセンター管理運営実施内容

市民公益活動サポートセンターは、指定管理者として2期目(平成24年4月1日～平成29年3月31日)、通算4年を終え、日常のセンター管理運営面での利用者に対する窓口対応・相談業務のほか、多くの企画事業の実施・広報紙の作成発行、施設利用の促進活動などを通じて、市民公益活動の推進に取り組んでいる。平成25年度に開催を予定している「(仮称)ボランティア・市民活動フェスタ2013」の実施方法について、ボランティアセンター、佐倉市ボランティア連絡協議会等と協議を重ねるとともに、平成25年度事業計画の作成にあたっては、前年度以上に地区社協や特にボランティアセンターとの連携を図りながら取り組んだ。  
センターの利用者実績は、口コミなどにより新たな利用者も増え、毎年大幅に伸び続けている。

利用施設名	24年度		23年度		22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	291件	2,208人	262件	1,880人	225件	1,798人
印刷作業室	1,357件	2,370人	1,300件	2,134人	1,148件	1,883人
交流スペース	843件	2,426人	831件	2,577人	800件	2,646人
情報・パソコンコーナー	337件	491人	360件	469人	275件	361人
事務	811件	947人	744件	801人	613件	679人
合計	3,639件	8,442人	3,497件	7,861人	3,061件	7,367人
人員配置	センター長1名 支援員5名		センター長1名 業務主任担当者1名 支援員5名			

(ア) 市民公益活動団体のつどい・テーマ別交流会①(子どもを見守り、育てる地域づくり)

日 時	6月25日(月)午後1時30分～4時
会 場	社会福祉センター 地下研修室
参加人数	参加者:14団体・21名
内 容	子育て支援活動に取り組む団体が、活動状況・課題について協議するとともに、8月26日(日)に開催する「市民活動出合いフォーラム」について協議を行った。

(イ) 市民公益活動団体のつどい・テーマ別交流会②(子どもを見守り、育てる地域づくり)

日 時	7月9日(月)午後1時30分～4時
会 場	社会福祉センター 地下研修室
参加人数	参加者:13団体・21名
内 容	8月26日(日)に開催する「市民活動出合いフォーラム」についての協議を行った。

(ウ) 市民活動出合いフォーラム

日 時	8月26日(日)午後1時30分～4時
会 場	志津コミュニティセンター 2階大会議室
参加者数	37名
内 容	子育て支援活動に関心を持たれた方が、活動に参加するきっかけづくりの場として、8団体が、活動発表と体験プログラム紹介を実施した。

(エ) レベルアップ講座「パソコンスキルアップ講座①」

日 時	6月16日(土)午後1時30分～4時30分
会 場	佐倉市シルバー人材センター ワークプラザ2階会議室
参加人数	参加者:11名
内 容	・ワードを使用してのチラシづくり

(オ) レベルアップ講座「パソコンスキルアップ講座②」

日 時	7月22日(日)午後1時30分～4時30分
場 所	佐倉市シルバー人材センター ワークプラザ2階会議室
参加人数	参加者:10名
内 容	エクセルで関数を使って作業能率アップ

(カ) ボランティアマネジメント講座

日 時	10月5日(金)午後1時30分～4時
会 場	中央公民館 学習室3
参加人数	参加者:23団体・46名
内 容	講 師:川中大輔氏(シチズンシップ共育企画代表) テーマ「より魅力的なグループを目指して～活動の輪が広がるために～」 セッション1:ボランティアマネジメントとは? セッション2:ボランティアが集まり、活きる組織のつくり方 セッション3:魅力的なグループになろう

(キ) 市民公益活動団体のつどい(全体交流会①)

日 時	10月5日(金)午後4時～5時
会 場	中央公民館 学習室3
参加人数	参加者:19名
内 容	・次年度開催を予定している「市民活動フェスタ」について、前回の様子を映像で紹介し、実行委員会の様子や反省会での意見などを伝え、開催時期、場所などについて意見をもらおうと同時に、実行委員としての協力を呼びかけた。



## (ク) 市民公益活動団体のつどい(全体交流会②)

日 時	2月16日(土)午後1時30分～3時50分
会 場	中央公民館 学習室3
参加人数	参加者:30団体52名
内 容	協議事項 ・次年度開催を予定している「(仮称)ボランティア・市民活動フェスタ2013」について、前回の実施状況を映像で振り返るとともに、開催時期・会場を協議した。また、実行委員会の立ち上げについては、ボランティアセンターとサポートセンターの登録団体へ広く呼びかけを行うので、積極的に参画いただきたいことを依頼した。 報告事項 ・平成25年度事業計画について ・サポートセンターアンケートについて ・ロッカー・メールボックスの使用について

## (ケ) 市民公益活動団体のつどい・テーマ別交流会(安全・安心なまちづくり)

日 時	10月22日(月)午後1時30分～4時
会 場	シルバー人材センター ワークプラザ2階会議室
参加人数	8団体・11名
内 容	「地域安全活動」および「防災救助活動」分野の団体が活動状況、課題等について協議を行うとともに、11月11日(日)に開催予定の市民活動フォーラムについて、協議を行った。

## (コ) 市民活動出合いフォーラム(安全・安心なまちづくり)

日 時	11月11日(日)午後1時30分～4時
会 場	中央公民館 学習室3
参加者数	34名
目 的	「防犯活動」および「防災救助活動」分野の団体活動発表、ならびに講演会を行い、安全安心なまちづくりに対する意識の高揚と担い手の輪が広がることを目的として開催した。
内 容	①講演:深味 肇氏(千葉市SLネットワーク代表) テーマ「災害時要援護者と住民の役割」 ②活動発表 「防災救助」「防犯」活動の団体が発表。 ③会場内に団体ブースを設置する。

## (サ) 市民公益活動団体のための相談会

1	日 時	11月19日(月)午後1時～5時
	会 場	レインボープラザ 104会議室
	参加者数	2団体、1名個人
	内 容	市民公益活動団体の書類作成・経理・マネジメント等について、経験豊富なNPO法人スタッフが、個別の相談に応じ、アドバイスを行った。
2	日 時	1月18日(金)午後1時～5時
	会 場	レインボープラザ佐倉 104会議室
	参加者数	2団体
	内 容	市民公益活動団体の税務・会計・助成金等について、経験豊富な税理士が、個別の相談に応じ、アドバイスを行った。

## (シ) ポスター展

1	日 時	1月30日(水)～2月4日(月)
	会 場	イオン臼井店3階
2	日 時	2月5日(火)～2月14日(木)
	会 場	佐倉市役所1階ロビー
3	日 時	2月16(土)～2月17日(日)
	会 場	佐倉市中央公民館
4	日 時	2月21日(木)～3月6日(水)
	会 場	JR佐倉駅まちづくりギャラリー

(ス)サポートセンターだよりの発行

発行月	年4回(6月、9月、12月、3月)
発行部数	毎回5, 100部(自治会・町内会を通じて住民への回覧、市役所の出先機関、サポートセンター登録団体、近隣市町村の市民活動支援センター、小・中・高等学校など)

### (3) 移動サービス事業

#### 実施内容

一人で電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して外出することが困難な高齢者や障がい者等の移動制約者が、医療機関への通院、福祉サービスの利用、趣味など社会参加を図るため、市民参加の相互支え合いを目的とした事業として移動手段を確保する移動サービス事業を実施した。コーディネーター6名体制で事務局スタッフとコーディネーターによるケース会議を月2回開催し、利用会員の調査、協力会員の研修、サービスのコーディネートを行い、事業を実施した。

#### ア 会員の状況

##### 利用会員(メンバー)の状況

会員種別	平成24年度	平成23年度	平成22年度
利用会員 (メンバー)	43名	47名	59名
	介護認定30人、 障がい者29人、 その他1人(重複あり)	介護認定33人、 障がい者28人、 その他2人(重複あり)	介護認定43人、 障がい者32人、 その他2人(重複あり)
協力会員 (サポーター)	40名	67名	48名
後援会員 (スポンサー)	81件:286,000円	62件:62,000円	54件:115,000円

#### イ 利用目的別回数

年度	通院	送迎	趣味	買物	その他	合計
平成24年度	216	35	21	16	2	290回
平成23年度	244	24	25	21	2	316回
平成22年度	279	0	27	21	40	367回

#### ウ 運行実績

年度	稼働日	回数	活動距離数	活動時間数	車両数
平成24年度	185日	287回	4,702,33km	750時間05分	3台
平成23年度	185日	316回	5,174,24km	792時間21分	3台
平成22年度	211日	367回	6,113,23km	877時間28分	3台

#### エ サポーター基本研修

年度	実施日	参加者(修了者)
平成24年度	実施なし	
平成23年度	7月2日(土)、7月3日(日)	15名
	11月26日(土)、11月27日(日)	12名
平成22年度	8月7日(土)、8月8日(日)	5名(修了者4名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動サービス概論</li> <li>・移動サービス活動の実際、移動サービスの利用者を理解する接遇と介助</li> <li>・移動サービスでの運転に必要な知識と心構え</li> <li>・福祉車両について、運転実技</li> <li>・移動サービスに必要な介助技術</li> <li>・交通安全講習、修了証書授与</li> </ul>	

#### オ サポーター現任者研修・交流会

年度	実施日	参加者
平成24年度	2月17日(日)	19名
平成23年度	10月22日(土)	19名
平成22年度	6月27日(日)	13名
	2月6日(日)	10名

#### カ 移動サービスコーディネーター会議

年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
開催回数	24回	24回	24回

毎月2回、コーディネーターと職員が集まり、新規訪問ケースの報告・検討、訪問予定ケースの報告・調整、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い、日常的運行の円滑化を図った。

### 3 収益事業

#### (1) 福祉売店の経営

##### 実施内容

佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合「さくら斎場」の利用者の利便を図り、本会福祉活動資金を確保するため、さくら斎場内に福祉売店を設置し、飲物、菓子つまみ類の販売を行った。

販売品目	ビール、酒、ノンアルコールビール、缶入り焼酎、ジュース、菓子・つまみ類、たばこ、雑貨類
取次品目	貸布団
スタッフ	販売員3名

#### (2) 手数料の収入

##### ア 自動販売機の設置

##### 実施内容

市内に自動販売機を設置し、地域福祉活動を進めるための資金確保を図った。しかし、前年度と比べると、手数料金額が減少という状況であった。

設置台数	20台
金額	1,656,988円

設置場所	台数	設置場所	台数
南部保健福祉センター	3	佐倉市民体育館	2
印旛沼サンセットヒルズ	2	南部保健福祉センター	2
根郷公民館	1	ミレニアムセンター(飲料)	1
社会福祉センター	2	ミレニアムセンター(タオル)	2
老人福祉センター	1	さくら斎場	3
レインボープラザ佐倉	1		

#### 過去3カ年の比較

年度	設置台数	金額
平成24年度	20台	1,656,988円
平成23年度	19台	1,714,941円
平成22年度	22台	1,850,554円

##### イ 広告掲載料、利用料

##### 実施内容

社協さくらへの広告掲載料、ホームページの有料広告、コピー機・印刷機の利用料収入により、社会福祉事業の資金造成を行った。

売上金等種類	社協さくらへの広告掲載料、ホームページの有料広告、コピー機・印刷機利用料
金額	284,760円

#### 過去3カ年の比較

年度	金額
平成24年度	284,760円
平成23年度	248,187円
平成22年度	251,168円

## (3) 収益事業損益計算

	平成24年度	平成23年度	平成22年度
① 事業収入(売上金等)	24,949,627円	25,168,160円	25,933,097円
② 事業原価(仕入費等)	11,826,054円	11,940,780円	12,071,148円
③ 事業総利益=①-②	13,123,573円	13,227,380円	13,861,949円
④ 事業費用(人件費、事務費)	10,171,208円	6,767,938円	8,669,553円
⑤ 事業利益=③-④	2,952,365円	6,459,442円	5,192,396円
⑥ 事業外収入	0円	0円	0円
⑦ 事業外費用(一般会計繰出金)	5,189,000円	6,495,000円	4,613,000円
⑧ 経常利益=⑤+⑥-⑦	△2,236,635円	△35,558円	579,396円
⑨ 特別収入	0円	0円	0円
⑩ 特別支出	0円	0円	0円
⑪ 税引前当期利益=⑧+⑨-⑩	△2,236,635円	△35,558円	579,396円

## 役 員

### 【理 事】

会 長	左奈田雄一			
副 会 長	高岡 良子	戸村 庄治		
常務理事	欠 員			
理 事	稲垣美加子	成瀬 匡央	川根 紀夫	
	高石惣一郎	宇田川光三	関根 直也	
	伊藤 澄子	山岸 洋子	古 島 弘	
	高橋 宗夫	寺田 純子		
【監 事】	五十嵐玲彦	錦織 盛益		

## 評 議 員

大野 直道	上ノ山博夫	飯 島 弘	土屋 志郎	薦岡 利宏
小長井博子	野口 和雄	関根 直也	遠藤 赳夫	高橋 義和
大栗 孝広	長谷川智之	大木 律子	櫻 井 肇	安本 秀明
池澤 利一	藤沢 奎二	大蔵 文子	平野 協治	増田 征司
井田 陽一	磯部 寛子	佐野智佳子	市原 敏彦	佐藤 英男
垣崎 昭子	池 克 志	田仲 知代	山本重一郎	椎名 俊治
安田 浩文	(欠員 1 名)			

(平成 2 5 年 3 月 3 1 日現在)

# 監事監査報告書

平成25年5月13日

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会  
会長 左 奈 田 雄 一 様

監 事

坪松 津隆



監 事

五十嵐 玲彦



私たちは、社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会（以下「本会」という。）定款第13条の規定に基づき、本会の平成24年度経理の状況及び業務執行の状況を監査しました。

## 1. 監査方法の概要

私たちは、本会経理規程第49条に基づき、監査にあたっては、本会の経理の状況及び業務執行の状況について、適正かつ効率的な運営を確保するための有効性等に留意しました。私たちの監査は、試査を基礎として、会計帳簿及び証憑についての閲覧・突合・質問等必要と認めた手続きを含んでいます。

## 2. 監査意見

私たちは、

- (1) 本会の平成24年度資金収支計算書並びに平成24年度末貸借対照表及び財産目録が、定款の規定及び本会経理規程に準拠して、本会の当該年度の収支状況及び当該年度末の財政状況を適正に示しているものと認めます。
- (2) 平成24年度の事業は適正に執行されており、報告書も事業の内容を適切に示しているものと認めます。
- (3) 平成24年度における理事の職務に関しては、適正に執行されているものと認めます。

以 上